

消 防 年 報

平成28年版

南 但 消 防 本 部

は し が き

この年報は、南但消防本部の消防現勢及び平成27年中の消防業務に関する事項について収録し、今後の消防業務の推進に関する基礎資料とするとともに、当本部の実態を紹介するために編集しました。

内容は、平成28年4月1日現在とし、予算及び予防関係については会計年度、火災・救急・救助関係については暦年、その他は必要に応じ当該表に記載年月日を表示しています。

また、平成24年度以前の統計については養父市消防本部、朝来市消防本部の合算により作成しています。

平成28年6月

南但消防本部

もくじ

南但消防本部の概要	1
構成市の概要	2
消防本部・消防署所の概要	3
南但消防本部組織・階級別職員配置状況	4
消防車両一覧	5
沿革	6
平成27年度中の主要行事	12
おもな出来事	14
一目統計	16

【概要編】

管理	18
予防	19
災害活動の概要	
火災	20
救急	22
救助	24
通信	26

【統計資料編】

管理編

平成27年度予算状況	29
平成26年度職員給与費等の実態	29
階級別勤続年数	30
年齢別職員構成	30
研修派遣状況	31
階級別資格取得状況	32
平成26年度一般会計決算の概要	33
応援協定等の締結状況	34

予防編

防火対象物の概要(地域別・中高層建物)	36
防火対象物の概要(査察件数・防火管理者・消防計画)	37
確認申請処理状況	38
消防教室実施状況	38
危険物施設数及び立入検査回数	39
危険物施設設置許可数及び変更許可の状況	39
市別・数量別危険物施設数	40
市別・類別危険物施設数	40
各種届出等受理状況	41

警防編

火災

年次別火災発生状況	43
月別火災発生状況	45
曜日別火災発生状況	45
時間別火災発生状況	46
使用した消防水利	46
覚知から現場到着までの所要時間	47
放水開始から鎮火までの所要時間	47
出火原因	48
用途別火災発生状況	49

救急

年次別救急発生状況	50
月別救急発生状況	51
曜日別救急発生状況	52
時間別救急発生状況	53
覚知から現場到着までの所要時間状況	54
覚知から医療機関収容までの所要時間状況	54
年齢・傷病程度別搬送人員	55
ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況	55
医療機関別・事故種別搬送状況	56
医療機関別・市別搬送状況	56
救急隊の行った応急処置状況	57
普通救命講習実施状況	57

救助

年次別救助発生状況	58
月別救助発生状況	59
曜日別救助発生状況	60
時間別救助発生状況	61
事故種別・傷病程度別状況	62

通信

気象観測状況	63
--------	----

装備

消防用機器の配置状況	64
------------	----

協力団体

消防団組織図	66
協力団体組織図	67

南但消防本部の概要

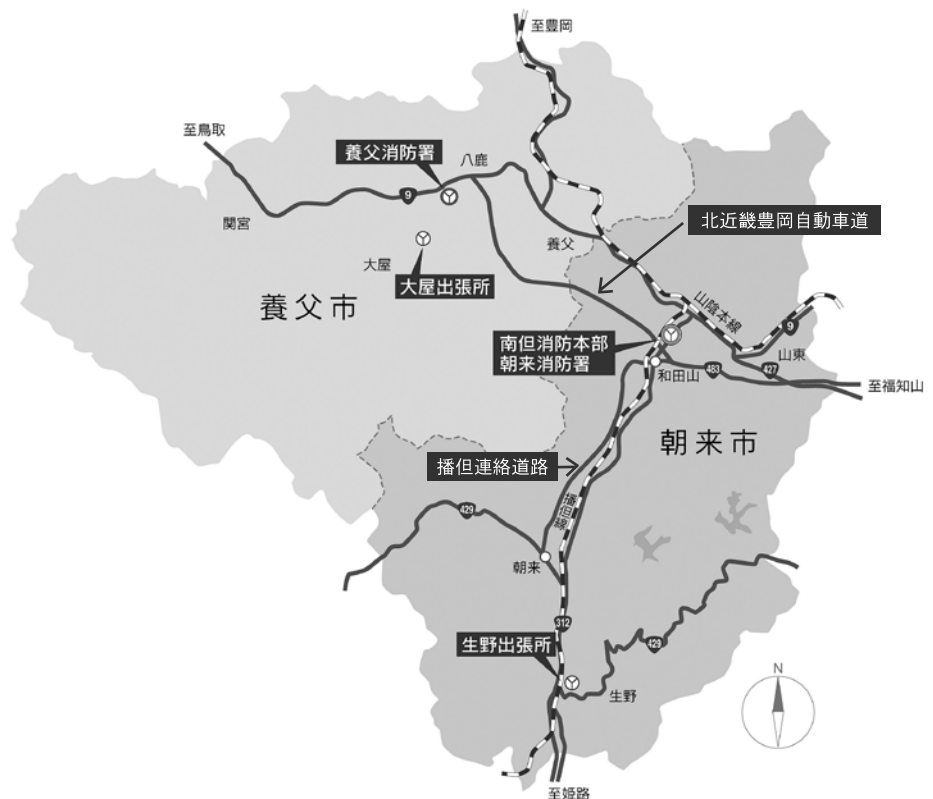
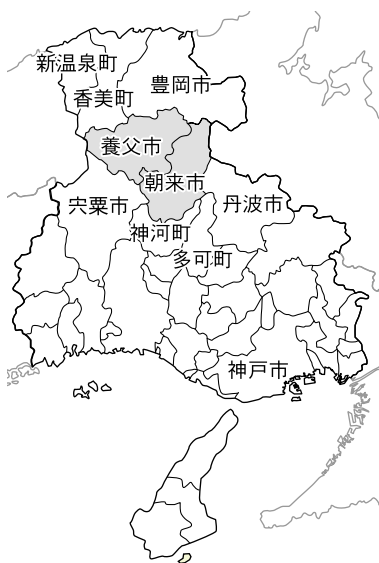
1 位置と地勢

南但消防本部のある南但馬地域は兵庫県の北部に位置し、養父市及び朝来市の2市で構成されています。

道路交通網は、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道9号線及び427号線が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号線が南北に通っています。また、国道312号線に沿って播但連絡道路とJR播但線が通っており、さらに国道9号線に沿ってJR山陰線が通っています。平成24年11月には北近畿豊岡自動車道の和田山JCT・IC～八鹿氷ノ山IC間が開通しており、但馬山陰地方と京阪神とを結ぶ交通の要衝にあります。

河川は、市川が北から南に流れ瀬戸内海に注ぎ、一級河川の円山川が南から北に流れ日本海に注いでおり、兵庫県の南北の分水嶺となっています。

また、養父市には県下最高峰の氷ノ山を始め、鉢伏山、ハチ高原、若杉高原や妙見山がそびえ、朝来市には茶すり山古墳を始めとする多くの古代遺跡、また、竹田城跡や生野銀山などの中世から近世にかけての史跡などが数多くあります。



2 管轄人口と世帯数

市町名	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
養父市	25,006	9,595	422.78
朝来市	31,668	12,306	403.06
合 計	56,674	21,901	825.84

H28.3.31現在住民基本台帳人口による

構成市の概要

養父市 「響きあう心 世界へ拓く ^{ゆい}結の郷 やぶ」



三角形は兵庫県最高峰の氷ノ山を象徴したもので、向かい合う2本のラインは、養父市を流れる大屋川、八木川を表している。

【市花】ミズバショウ

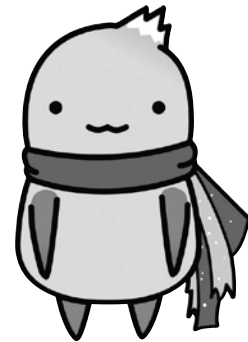
【市木】ブナ

【主な産業・経済】

大根、朝倉山椒等の農産物、但馬牛、八鹿豚などの畜産物

【観光・文化・歴史】

氷ノ山(兵庫県最高峰)、天滝(日本の滝100選)
明延鉱山、ハチ高原、名草神社三重塔
全日本ビバホールチェロコンクール



養父市イメージキャラクター
やっぶー

朝来市 「人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市」



朝来市の頭文字である「ア」をモチーフとして、円は人々の交流を、太陽の光は4つの町を象徴し、緑豊かな山から朝日が昇ってくる様子を表現している。

【市花】さくら

【市木】けやき

【主な産業・経済】

金属バネ工業、家具作り、岩津ねぎ

【観光・文化・歴史】

竹田城跡(日本100名城)、茶すり山古墳(近畿最大円墳)
生野銀山及び鉱山町の文化的景観、白井大町藤公園
神子畑鉄橋(日本最古の全鉄橋)



朝来市マスコットキャラクター
ちゃあいれ

消防本部・消防署所の概要

消防本部・消防署

南但消防本部・朝来消防署

【住所】

朝来市和田山町枚田436番地の1

【建築年月】

昭和51年12月(平成16年9月耐震化工事完了)

【敷地面積】

2,651.4㎡

【構造】

鉄筋コンクリート造 3階建一部鉄骨造



消 防 署

養父消防署

【住所】

養父市八鹿町高柳173番地

【建築年月】

昭和53年12月(平成26年12月耐震化工事完了)

【敷地面積】

1,368.81㎡

【構造】

鉄筋コンクリート造 2階建



出 張 所

朝来消防署生野出張所

【住所】

朝来市生野町口銀谷222番地の1

【建築年月】

昭和52年11月

【敷地面積】

585.55㎡

【構造】

鉄筋コンクリート造 2階建



養父消防署大屋出張所

【住所】

養父市大屋町樽見549番地

【建築年月】

昭和54年12月

(平成26年8月耐震化(事務所棟建替)工事完了)

【敷地面積】

751.93㎡

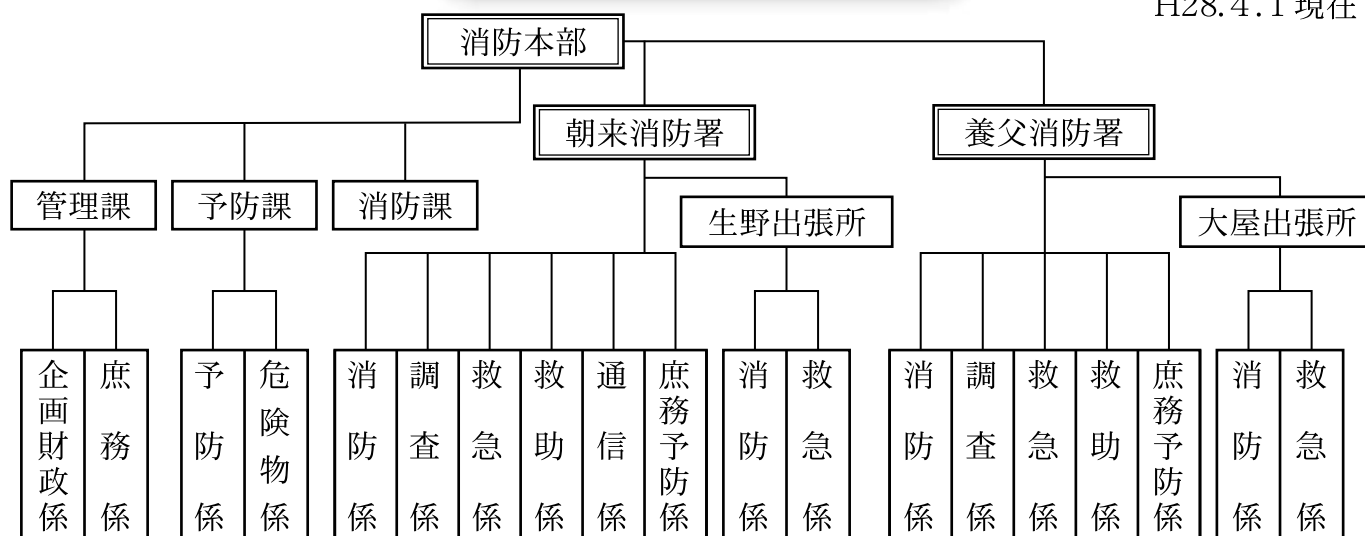
【構造】

鉄筋コンクリート造 2階建



南但消防本部組織

H28.4.1 現在



階級別職員配置状況

H28.4.1 現在

区 分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長 消防士	計
消防本部	消防長	1					1
	次長		1				1
	管理課		3	3		4	10
	予防課		3	2	1	1	7
	消防課		9	6			15
朝来消防署	署長		(1)				(1)
	副署長		2 (1)				2 (1)
	庶務予防係			(4)	(1)	(1)	(6)
	第一部		(3)	1 (5)	2 (1)	5	8 (9)
	第二部		(3)	3 (4)	1	5	9 (7)
	生野出張所長		(1)				(1)
	第一部		(1)	3		1	4 (1)
	第二部			3	1	1	5
養父消防署	署長		1				1
	副署長		1				1
	庶務予防係		(1)	2	2	1	5 (1)
	第一部		2 (1)	4	(2)	3	9 (3)
	第二部		2 (1)	4 (1)	1	2 (1)	9 (3)
	大屋出張所長		(1)				(1)
	第一部		(1)	2	1	1	4 (1)
	第二部			2	2	1	5
計		1	24(15)	35(14)	11 (4)	25 (2)	96(35)

※() は兼務職員を示す。

消防車両一覧

(H28.3.31現在)

種 別			メーカー	導入年度	経過年数	エンジン
朝来消防署	1	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型	日野	平成15年度	12 年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車 CD-I 型	日野	平成15年度	12 年	ディーゼル
	3	はしご付消防自動車 15m 級	三菱	平成7年度	20 年	ディーゼル
	4	救助工作車Ⅱ型	日野	平成13年度	14 年	ディーゼル
	5	高規格救急車	トヨタ	平成26年度	1 年	ガソリン
	6	高規格救急車	トヨタ	平成24年度	3 年	ガソリン
	7	高規格救急車	トヨタ	平成19年度	8 年	ガソリン
	8	指揮車	トヨタ	平成19年度	8 年	ガソリン
	9	指揮支援車	日産	平成21年度	6 年	ガソリン
	10	広報車	トヨタ	平成23年度	4 年	ガソリン
	11	カーゴトレーラー	シーマリン	平成21年度	6 年	-
	12	司令車	ホンダ	平成21年度	6 年	ハイブリット
生野出張所	13	水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-A 型	三菱	平成14年度	13 年	ディーゼル
	14	高規格救急車	トヨタ	平成21年度	6 年	ガソリン
	15	指揮車	スズキ	平成24年度	3 年	ガソリン
養父消防署	1	化学消防ポンプ自動車	日野	平成22年度	5 年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車 CD-I 型	三菱	平成15年度	12 年	ディーゼル
	3	救助工作車Ⅱ型	日野	平成18年度	9 年	ディーゼル
	4	高規格救急車	トヨタ	平成25年度	2 年	ガソリン
	5	高規格救急車	トヨタ	平成22年度	5 年	ガソリン
	6	指揮車	トヨタ	平成19年度	8 年	ガソリン
	7	広報車	トヨタ	平成21年度	6 年	ガソリン
	8	司令車	トヨタ	平成25年度	2 年	ガソリン
大屋出張所	9	消防ポンプ自動車 CD-I 型	トヨタ	平成23年度	4 年	ディーゼル
	10	高規格救急車	トヨタ	平成20年度	7 年	ガソリン
	11	指揮車	スズキ	平成25年度	2 年	ガソリン

沿 革

1 南但消防本部

年 月	記 事
平成25年 4月	南但消防本部発足(記念式典及び消防本部旗授与式挙行 4 / 1) 消防吏員 4 名を採用(条例定数98名) 県下広域を含めて各消防応援協定を締結(詳細は34頁に掲載)
5月	消防救急デジタル無線実施設計着手
7月	消防本部の広報紙「NANTAN 119だより」創刊号を発行
11月	管理者交替、秋の火災予防運動行事に一日消防官(朝来署)を実施 公用車を更新し養父消防署に配備
12月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備、指揮車を更新し大屋出張所に配備 年末年始特別警戒の行事に一日消防署長(養父消防署)を実施
平成26年 1月	南但消防本部として初めての出初式挙行
3月	大屋出張所耐震化工事着手 朝来市及び養父市危険物安全協会解散総会開催
4月	消防吏員 7 名を採用(条例定数98名)
5月	南但危険物安全協会設立総会・記念式典
6月	消防救急デジタル無線工事着手 消防職団員参集メールシステム運用開始
8月	大屋出張所耐震化工事完了
11月	消防センター改修工事
12月	養父消防署耐震化工事完了
平成27年 1月	阪神淡路大震災20年メモリアル訓練実施(南但消防本部) 高規格救急自動車を更新し朝来署に配備
4月	消防吏員 7 名を採用(条例定数98名)
6月	朝来市自主防災推進協議会総会及び講演会開催
12月	女性消防職員仮眠室完成
平成28年 1月	デジタル消防無線試験運用開始(1月22日～)
4月	デジタル消防無線正式運用開始(4月1日～)

2 旧朝来市消防本部の沿革

年 月	記 事
昭和51年 4月	朝来郡広域消防事務組合消防本部(署)を設置(新規採用18名を含む20名で消防業務開始) 神戸市消防局から救急車(1 B型)を借用
5月	救急車(デリカ)を配備(和田山ライオンズクラブから寄贈)
9月	消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備、小型動力ポンプ付積載車(B2級ポンプ積載)を配備
10月	初任科研修を修了した消防士15名を配置し、消防業務全般を開始
12月	和田山町枚田436番地1に消防本部庁舎竣工、移転 救急車(2 B型)を配備(日本損害保険協会から寄贈)
昭和52年 1月	消防用無線電話開局
4月	消防吏員14名を採用
6月	県道山東・柏原線の遠坂トンネル開通に際し、氷上郡青垣町と応援協定を締結

昭和52年 9月	査察広報車を配備
10月	消防ポンプ自動車(ＢＤ－Ｉ型)を配備
11月	生野町口銀谷222番地１に消防署生野出張所庁舎竣工。消防吏員９名を配置、消防ポンプ自動車(ＢＤ－Ｉ型)及び救急車(デリカ)を配備し消防業務開始
昭和53年 1月	本署屋外訓練場に訓練塔を建設
4月	消防吏員９名を採用(条例定数43名)。消防専用電話119番を消防本部に集中、同時に農協有線一斉放送設備を使用し、火災発生報知業務を開始。朝来郡危険物安全協会発足
12月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ－Ｂ型)を本署に配備
昭和54年 3月	生野出張所にサイレン一斉吹鳴装置を設置
昭和55年 2月	救急車(２Ｂ型)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
4月	中播消防事務組合と応援協定を締結
11月	広報誌「119だより」創刊号を発行
12月	救急指令装置Ｃ型を整備
昭和56年 4月	兵庫県救急医療情報システムを導入
8月	第10回全国消防救助技術大会に初出場
昭和57年 2月	養父郡広域事務組合と応援協定を締結
8月	第11回全国消防救助技術大会に２年連続で出場
昭和58年 6月	兵庫県下消防職員意見発表会に出場し最優秀賞を獲得(4/22)、近畿地区代表として全国消防職員意見発表会に出場し入賞
8月	第12回全国消防救助技術大会に３年連続で出場。氷上郡広域行政事務組合と応援協定を締結
12月	宍粟広域消防事務組合と応援協定を締結
昭和59年 2月	北但広域消防事務組合と応援協定を締結
3月	西脇市多可郡消防事務組合と応援協定を締結
8月	救急車(２Ｂ型)を更新し出張所に配備(日本消防協会から寄贈)。福知山市と応援協定を締結。第13回全国消防救助技術大会に４年連続出場
昭和60年 1月	播但地区消防職員意見発表会で最優秀賞を獲得
昭和61年 6月	河川情報システムを運用開始
8月	第15回全国消防救助技術大会に２年ぶりに出場
昭和62年 8月	第16回全国消防救助技術大会に２年連続出場
9月	救急車(２Ｂ型)を更新し本署に配備(兵庫県共済農業共同組合連合会から寄贈)
昭和63年 2月	救助工作車(Ⅰ型)を本署に配備
8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結
平成元年 2月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ－Ａ型)を整備し、出張所に配備
9月	査察広報車を更新
10月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ－Ｂ型)を更新し本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
平成 2年 3月	消防訓練塔(15m主訓練塔及び補助訓練塔)が完成
4月	緊急通報システム運用開始
8月	消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅰ型)を更新し本署に配備
10月	第38回全国消防技術者会議で職員が研究発表
平成 3年 4月	救急救命士法成立
8月	救急車(２Ｂ型)を更新し出張所に配備(日本消防協会から寄贈)
9月	台風19号来襲、朝来郡内各地に被害
平成 4年 3月	兵庫県道路公社、姫路市、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定締結。兵庫県道路公社、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防無線設備及び通信施設に関する協定締結
9月	生野町オフトーク放送運用開始
平成 5年 4月	朝来郡コミュニティ消防センター竣工。兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始

平成 6年 2月	消防緊急通信指令施設運用開始
4月	神戸市救急救命士養成所(前期)に職員1名を初めて派遣
11月	高圧ガス等の移譲事務取扱開始
平成 7年 1月	兵庫県南部地震発生(1/17、M7.3)、神戸市灘消防署に応援隊派遣(延べ12日間、32名、11台)
3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備
4月	救急救命士による救急業務開始。同日、高規格救急自動車運用開始
平成 8年 3月	はしご付消防自動車(15m級)を整備し本署に配備
6月	朝来郡広域消防事務組合を朝来郡広域行政事務組合に統合し、消防本部名を「あさご消防本部」に変更。消防本部発足20周年記念式典挙行
9月	朝来郡内の各町と朝来郡消防相互応援協定を締結
10月	兵庫県消防防災航空隊発足
平成 9年 1月	ロシア船籍「ナホトカ号」座礁に伴う流出油回収へ応援出動(～1/25)
3月	朝来郡自主防災推進協議会発足式を挙行
6月	山東町防災行政無線システム開局 播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4/15)。近畿地区代表として、京都市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
平成10年 4月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
平成11年 2月	兵庫県道路公社、水上郡広域行政事務組合と遠阪トンネル有料道路における消防無線等に関する協定締結
8月	第28回全国消防救助技術大会に12年ぶりに出場
平成12年 5月	播但連絡道路開通(5/27)に伴う消防合同訓練実施
8月	第29回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
平成13年 7月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
9月	救助工作車をⅡ型に更新し本署に配備
平成14年 3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員1名を隊員派遣
4月	和田山町及び朝来町のCATV開局
12月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-A型)を更新し、生野出張所に配備
平成15年 7月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)を整備し本署に配備 消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新し本署に配備
8月	第32回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
平成16年 4月	兵庫県ドクターヘリ運用開始、兵庫県・神戸市消防防災ヘリコプター共同運航開始
7月	福井豪雨災害に緊急消防援助隊を派遣
8月	気管挿管認定救命士誕生。台風16号襲来、管内各地で被害発生
9月	消防本部庁舎耐震化工事完了
10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大(管内救助人員66名) 兵庫県下広域応援出動要請により、豊岡市に救助隊を派遣。兵庫県下広域消防相互応援隊及び緊急消防援助隊の基地本部に指定され、県下応援隊(100隊)及び緊急援助隊(大阪府他計139隊)対応を北但広域消防本部に代わり但馬代表代行消防本部として行う
平成17年 3月	高規格救急自動車を更新し、出張所に配備
4月	朝来郡広域行政事務組合の解散式、合併により朝来郡広域行政事務組合が解散する(31日)
4月	朝来市消防本部誕生、(朝来郡4町が合併し朝来市が誕生)
11月	尼崎市JR福知山線列車事故災害に兵庫県消防相互応援協定に基づき救急隊を派遣
平成18年 3月	携帯電話からの119通報を直接受信開始
7月	薬剤投与認定救命士誕生
8月	北近畿豊岡自動車道春日和田山間開通
12月	第35回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場 第9回全国消防広報コンクールで広報紙の部で優秀賞受賞

平成19年 2月	高機能消防指令センター運用開始
6月	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4/24)。近畿地区代表として、名古屋市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
8月	第36回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
9月	第1回但馬地域MC協議会開催
10月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
11月	兵庫県消防防災航空隊合同訓練実施(竹田城跡)
12月	第10回全国消防広報コンクールで広報紙の部で入賞
平成20年 8月	第37回全国消防救助技術大会に3年連続で出場 自動体外式除細動器(AED)設置施設公表制度開始
平成21年10月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
12月	指揮支援車を本署に配備
平成22年 4月	ドクターヘリ運航開始
12月	ドクターカー運行開始
平成23年 3月	東北地方太平洋沖地震発生(3/11、M9.0)
3月～ 4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣(兵庫県隊、但馬ブロック隊として計16名派遣)
8月	消防広域化協議会発足式開催
平成24年 6月	消防救急デジタル無線基本設計・電波伝搬調査実施
8月	第41回全国消防救助技術大会に3年ぶりに出場 養父市及び朝来市消防広域化調印式(8/22)
11月	北近畿豊岡自動車道路和田山八鹿道消防合同訓練、指揮支援車を更新し出張所に配備
平成25年 3月	朝来市消防本部を閉庁

3 旧養父市消防本部の沿革

年 月	記 事
昭和53年 4月	養父郡広域事務組合養父郡消防本部(署)を設置(新規採用19名を含む24名で消防業務開始)
5月	査察広報車を配備
8月	救急車(2B型)2台を配備(八鹿病院及び日本船舶振興会から寄贈)
9月	消防ポンプ自動車(BD-I型)及び指令車を配備
10月	初任科研修を修了した消防士18名を配置し、消防業務全般を開始
11月	化学消防自動車(II型)を配備
12月	八鹿町高柳173番地に消防本部庁舎竣工に伴い移転。消防専用電話119番・農協有線電話0119番を消防本部に集中化。農協有線一斉緊急放送設備の運用開始。消防用無線電話開局
昭和54年 4月	消防吏員7名を採用
6月	救急車(2B型)を配備(日産自動車から寄贈)
9月	小型動力ポンプ付積載車を配備(日本船舶振興会から寄贈)
12月	大屋町樽見549番地に消防署大屋出張所庁舎竣工。消防吏員8名を配置、小型動力ポンプ付積載車及び救急車(2B型)、広報車(大屋ライオンズクラブから寄贈)を配備し消防業務開始
昭和55年 3月	八鹿町高柳313-10番地に消防訓練場及び訓練塔を竣工。気象観測装置一式設置
4月	消防吏員5名を採用(条例定数35名)
6月	養父町建屋婦人防火クラブ結成
昭和56年 5月	救助工作車(I型)を本署に配備
8月	消防本部書庫及び車庫増築
11月	関宮町立出合小学校少年消防クラブ結成

昭和56年12月	養父郡幼少年婦人防火委員会設立
昭和57年 2月	朝来郡広域消防事務組合と応援協定締結
3月	養父町立養父小学校少年消防クラブ結成
4月	養父郡消防本部発足5周年記念式典挙行
6月	大屋町婦人防火クラブ結成
8月	消防訓練場に水防倉庫完成
昭和58年 7月	宍粟広域消防事務組合と応援協定締結
8月	美方郡広域消防事務組合と応援協定締結
9月	消防ポンプ自動車(BD-I)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
昭和59年 2月	北但広域消防事務組合と応援協定締結
5月	査察広報車を更新し本署に配備
11月	防火広報車を更新し本署に配備(日本防火協会から寄贈)
昭和60年10月	救急車(2B型)を本署に配備(兵庫県農業共済連合会から寄贈)
昭和61年 1月	八鹿町立伊佐小学校少年消防クラブ結成
昭和62年 4月	公用車を本署に配備
12月	救助体制整備のためルーカスレスキューツールを配備
昭和63年 2月	広域消防応援体制充実のため消防用無線全国波を増設
4月	消防訓練場に夜間照明設備完成。養父郡消防本部発足10周年記念式典挙行
8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結。本署に救急消毒室整備 林野火災特別地域指定に伴い林野火災用可搬式送水装置を配備
10月	消防ポンプ自動車(BD-I)を更新し出張所に配備
11月	司令車を更新し本署に配備
平成元年 8月	出張所に救急消毒室を整備
10月	救急車(2B型)を出張所に配備(日本消防協会から寄贈)
平成 3年 2月	救助工作車(I型)を更新し本署に配備
10月	緊急通報システム運用開始
平成 4年 1月	査察広報車を更新し本署に配備
11月	救急車(2B型)を本署に配備(日本消防協会から寄贈)
12月	化学消防車(II型)を更新し本署に配備
平成 5年 4月	兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
10月	消防ポンプ自動車(BD-I)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
11月	救急車(2B型)を本署に配備(養父郡農業協同組合から寄贈)
平成 6年 7月	査察広報車を更新し出張所に配備
11月	防火広報車更新
平成 7年 1月	兵庫県南部地震発生、神戸市灘消防署に応援隊派遣(1/17、延べ11日間、33名、11台)
10月	北九州市の救命士養成所に職員1名を初めて派遣
平成 8年 9月	兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステム導入
平成 9年 3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備(日本自動車工業会から寄贈)
7月	公用車を更新し本署に配備
平成10年 6月	養父郡消防本部発足20周年記念式典挙行、シンボルマーク及びマスコットキャラクター制定
12月	冬山搜索装備品整備
平成11年 6月	高規格救急自動車(4WD)を整備し出張所に配備
平成12年12月	緊急通報システムセンター装置更新
平成13年12月	緊急テロ対策関係資器材整備
平成14年10月	指令車を更新し出張所に配備
平成15年 3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員1名を隊員派遣
6月	災害対応特殊高規格救急自動車(4WD)を本署に配備
8月	第32回全国消防救助技術大会に初出場

平成15年12月	消防ポンプ自動車(CD-I)を更新し出張所に配備
平成16年 3月	養父郡広域事務組合の解散式、合併により同組合が解散する(31日)
4月	養父市消防本部誕生(養父郡4町が合併し養父市が誕生)
8月	第33回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大、県下広域応援出動要請により豊岡市に救助隊を派遣
平成17年 4月	播但地区代表として兵庫県消防職員意見発表会に出場
8月	第34回全国消防救助技術大会に3年連続で出場
9月	救命ボート、水難救助器材、自家用発電機整備
11月	携帯電話からの119番通報を直接受信開始
平成19年 1月	救助工作車(Ⅱ型)を更新し本署に配備
8月	第36回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
12月	八鹿ライオンズクラブから自動体外式除細動器(AED)を寄贈され署所に配備
平成20年 3月	査察広報車を更新し本署に配備(JAたじま・JA共済連兵庫から寄贈)
7月	八鹿ヘリポート少量危険物貯蔵施設整備
平成21年 2月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
9月	防火広報車を更新し本署に配備
11月	携帯・IP電話位置情報システム運用開始
平成22年 3月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
4月	ドクターヘリ運航開始
12月	ドクターカー運行開始、化学消防ポンプ自動車を更新し本署に配備
平成23年 3月	14時56分、東北地方太平洋沖地震発生(M9.0)
3月～4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣(兵庫県隊、但馬ブロック隊として計14名派遣)
8月	養父市及び朝来市消防広域化協議会発足式開催
9月	消防ポンプ自動車(CD-I)を更新し本署に配備
10月	ドクターカー・ドクターヘリとの併用運行開始
12月	鳥取県東部広域行政管理組合と応援協定を締結
平成24年 8月	養父市及び朝来市消防広域化調印式(8/22)
平成25年 3月	養父市消防本部を開庁

平成 27 年度中の主要行事

月 日	内 容
4月 1日	山火事防止月間(4/1～4/30)
4月 2日	八鹿病院新人防火研修(於:八鹿病院) 兵庫県消防学校「初任科」7名入校(卒業式9/29)
4月 5日	養父市消防大会(於:八鹿文化会館)、朝来市消防大会(於:ジュピターホール)
4月17日	南但危険物安全協会理事会(於:南但消防本部)
4月19日	養父市消防団新入団員訓練(於:養父消防署) 消防ふれあいまつり(於:イオン)
4月23日	交通安全教育(朝来署)
4月24日	消防関係機関連絡会議(於:南但消防本部)
4月30日	交通安全教育(養父署)
5月 8日	救助隊特別訓練(～7/25)
5月15日	南但危険物安全協会総会(於:ジュピターホール)
5月17日	全但消防協議会総会(於:ジュピターホール)
5月18日	養父市防火委員会(於:養父市情報センター) 竹田城で警察との合同山岳救助訓練
5月20日	朝来市自主防災推進協議会役員会
5月22日	兵庫県消防防災航空隊消火訓練
5月27日	養父市婦人防火クラブ総会(於:養父公民館)
5月28日	甲種防火管理者講習会(～5/29 於:南但消防本部)
5月29日	水防連絡会(於:養父土木)
6月 1日	養父市、朝来市トライやる・ウィーク(～6/5 於:養父消防署、朝来消防署)
6月 7日	危険物安全週間(～6/13)
6月 9日	竹田地域ビジョン会議
6月11日	防災パトロール(養父市・朝来市内)
6月14日	関宮方面隊ポンプ操法大会
6月15日	消防大学校「幹部科」入校(～7/30)
6月18日	水難救助ボート取扱い訓練(6/18.19 於:山東町金浦調整池)
6月21日	八鹿方面隊ポンプ操法大会
6月25日	朝来市自主防災推進協議会総会及び講演会(於:ジュピターホール)
6月28日	養父方面隊ポンプ操法大会 朝来市合併10周年記念式典(於:ジュピターホール)
7月 1日	監督職研修(～7/3)
7月 5日	大屋方面隊ポンプ操法大会
7月19日	第44回消防救助技術近畿地区指導会(於:神戸市)
7月26日	養父市消防団ポンプ操法大会
7月27日	初任科所属研修(～7/31)
8月17日	県学校初任科指導教官派遣
8月26日	鳥取東部消防本部との合同訓練(於:氷ノ山)
8月30日	防災週間(～9/5)

月 日	内 容
8月30日	兵庫県合同防災訓練(於:三木市他)
9月 6日	養父市・朝来市一斉避難訓練(於:養父市・朝来市)
9月25日	防火ポスター審査会(於:南但消防本部)
9月29日	県学校初任科卒業式
10月 1日	救助訓練強化月間(～10/31)、兵庫県消防学校「救助科」入校(～10/30)
10月 3日	八鹿病院災害訓練(於:八鹿病院)
10月17日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練(～10/18 於:京都府立山城総合運動公園)
10月20日	和田山高等学校就業体験(～10/22)、山岳救助訓練(～10/21 於:天滝)
10月24日	但馬食文化まつり(～10/25、於:ジュピターホール)
10月25日	ひょうご消防のつどい(於:三木市)
10月26日	自治研管理職研修(～10/27)
11月 1日	救急訓練強化月間(～11/30、12/3救急査閲 於:朝来署) 緊急車両運転者特別研修(～11/2)
11月 3日	朝来ふれあい元気まつり(於:朝来)
11月 4日	兵庫県消防学校「警防科」入校(～11/21)、「中級幹部科」入校(～11/17)
11月 6日	朝来消防署 1 日消防官
11月 8日	朝来市消防団山東支団緊急訓練(於:山東町)、八鹿方面隊合同消防訓練
11月 9日	秋季全国火災予防運動(11/9～11/15)、和田山支団夜間緊急訓練(於:藤和)
11月12日	旅館ホテル防火研修会(朝来市、於:南但消防本部)
11月13日	J R 列車事故対応合同訓練(於: J R 和田山駅)
11月15日	関宮方面隊消防合同訓練 Yタウン消防ふれあいまつり(於:養父市Yタウン) 朝来市消防団幹部、女性消防団員、新入団員研修会(於:山東町緑風ホール、南但消防本部)
11月16日	防火訪問(～11/20 於:養父市内)(～11/25 於:朝来市内)
11月19日	兵庫県危険物安全協会会長研修会(～11/20 於:美方郡)
11月25日	兵庫県消防学校「特殊災害科」入校(～12/8)
12月 1日	消防訓練強化期間(12/1～12/15)
12月 3日	消防職員安全衛生研修
12月 9日	兵庫県消防学校「災害現場指揮科」入校(～12/11)
12月15日	年末年始特別警戒(前期12/15～12/24 後期12/25 ～1/3)
1月 1日	デジタル消防無線運用開始
1月 5日	兵庫県消防学校「火災調査科」入校(～1/19)
1月 8日	平成28年消防出初式(於:南但消防本部)
1月17日	阪神淡路大震災21周年
1月21日	兵庫県消防学校「救急科」入校(～3/15)
1月24日	文化財合同訓練(於:青溪書院・赤淵神社)
1月25日	赤淵神社消防訓練、養父方面隊との消防合同訓練
3月 1日	春季全国火災予防運動(～3/7)
3月 8日	大屋方面隊との合同訓練
3月10日	山岳遭難合同訓練(於:氷ノ山国際スキー場) 病院福祉施設防火研修会(朝来市、於:南但消防本部)
3月11日	震災対応合同訓練(於:養父署)
3月13日	林野火災対応朝来・生野支団合同訓練(於:岩津、円山)

～おもな出来事～



南但消防本部辞令交付式

(4月1日 消防本部)

4月から新しく7名の職員を採用し、消防長から辞令交付が行われました。1日でも早く住民から信頼される消防士になることを誓いました。



消防ふれあい祭り

(4月19日 イオン和田山ショッピングセンター)

(11月15日 養父市Yタウン)

昨年に引き続き養父市内でも消防ふれあい祭りを開催しました。多くのご来場ありがとうございました。



警察機関合同山岳救助訓練

(5月18日 竹田城跡)

朝来警察署、兵庫県機動隊、県警ヘリと合同で滑落事故を想定した救助訓練を実施し、警察機関との連携を再確認しました。



トライやるウィーク

(6月1日～6月5日 消防本部)

和田山、生野、朝来、八鹿青溪、大屋中学の2年生12名が参加し、敬礼などの基本訓練から救助、放水訓練、普通救命講習などの訓練にトライしました。



第44回消防救助技術近畿地区指導会

(7月19日)

兵庫県と大阪府内の各消防本部から、消防本部の代表として選考された救助隊員が全国大会出場を目指し、日頃の訓練の成果を披露しました。



防火ポスター審査会 (9月25日 消防本部)

朝来市・養父市内の小学校及び中学校の児童生徒から防火ポスターを募集し審査を行いました。最優秀作品は、防火ポスターとして各戸に配布されました。

～おもな出来事～



山岳救助訓練 (10月21、22日 天滝)

天滝付近で登山者が滑落し歩行不可能という想定で訓練を実施しました。要救助者をロープで対岸へ救出した後、防災航空隊のヘリでピックアップ可能な位置まで搬送しました。



一日消防官 (11月6日 消防本部)

女性消防団員4名が消防長から辞令交付を受けた後、市内のこども園・保育園を回り、園児たちに防火クイズを出題して、家庭内の火災予防を呼びかけました。



JR列車事故対応合同訓練 (11月13日 JR和田山駅)

消防本部、朝来市消防団、JR西日本、朝来警察、八鹿病院(DMAT)、和田山医療センターとの連携強化の為、列車事故を想定した合同訓練を実施しました。



庁舎増築 (消防本部)

平成27年度の女性消防職員採用に伴い、女性職員専用の仮眠室を朝来消防署に増築しました。



消防出初式 (1月8日 消防本部)

南但消防本部が発足し、3年が経過しました。朝来市、養父市の連携も強化され、力強い訓練披露が出来ました。安心、安全な南但を目指し、職員一丸となって取り組むことを誓いました。



3.11震災対応合同訓練 (3月11日 養父消防署)

東日本大震災から5年。震災から得た経験と教訓を活かすため、陸上自衛隊、養父警察署、八鹿病院(DMAT)、養父市役所等と合同で訓練を実施し、連携を強化しました。

一 目 統 計

構成市町	面 積	人 口	世 帯 数
2 市	825.84km ²	56,674人	21,901世帯
養父市 朝来市	養父市 422.78km ² 朝来市 403.06km ²	養父市 25,006人 朝来市 31,668人	養父市 9,595世帯 朝来市 12,306世帯

予 算	組 織	職 員 数	消防団員数
1,264,146千円	消防本部 1 消 防 署 2 出 張 所 2	97名	2,288名 養父市 1,282名 朝来市 1,006名

防火対象物	危険物施設	防 火 団 体	
3,203棟 養父市 1,503棟 朝来市 1,700棟	341施設 養父市 175施設 朝来市 166施設	朝来市自主防災 推進協議会 424会員 地 域 会 員 159会員 事業所会員 259会員 賛 助 会 員 6会員	養父市幼少年婦人 防火委員会 471名 婦人防火クラブ 95名 幼年消防クラブ 276名 少年消防クラブ 100名

火 災	救 急	救 助	そ の 他
31件 【出火原因】 ①不明 ②焼却火 ③電気装置 列車ブレーキの火花	出動件数 3,046件 搬送人員 2,759名 【事故種別】 ①急 病 ②一般負傷 ③転院搬送	出動件数 74件 救助人員 54名 【事故種別】 ①交通事故 ②水難事故 ③機械による事故	出動件数 911件 【種別】 ①へり支援 699件 ②救急支援 131件 ③そ の 他 81件

通 信	タンク・ポンプ車	特殊車両	救 急 車
119番総受信回数 3,714回 緊急通報受信回数 2,702回	タンク車 2台 ポンプ車 3台	は し ご 車 1台 救助工作車 2台 化 学 車 1台	高規格救急車 6台

概 要 編

凡例

統計表中の符合等の用法は、次のとおりです。

「0」……………該当数字を四捨五入した結果、0 となったもの

「△」……………負数

「(空白)」…該当なし

管 理

1 平成27年度消防行政の推進

合併3年目を迎えた平成27年度は、合併効果を高め組織をより一層強化するため職員から提言を募り、5つの分野においてプロジェクトチームを編成し検討を行いました。今後は、各プロジェクトの検討結果を具体化することによって、消防本部機能の一層の充実強化を図っていきます。

また、大量退職・大量採用期を向かえ人材育成・技術伝承など職員個々の能力をさらに向上させるため、消防学校を始めとした各研修機関へ28名の職員を派遣するとともに、研修修了者による職場内での研修を積極的に行い職員の能力開発に努めました。また、幹部職員を養成するため消防大学校幹部科へ1名を派遣しました。

なお、「地域の安全・安心を守る」という基本理念のもと、消防本部が定めた当該年度の重点推進事項は、次のとおりです。

- (1) 事業所等の防火管理体制の強化
- (2) 自主防災体制の強化と住宅防火及び災害弱者対策の推進
- (3) 消防活動の高度化
- (4) 消防団との連携及び広域消防相互応援体制の整備
- (5) 活力ある職場づくり



2 平成27年度当初予算

平成27年度当初予算の総額は1,264,146千円で前年と比較すると55,901千円の減となっています。このうち人件費は790,057千円で歳出予算総額の62.5%を占めています。



また、消防施設や資機材などを整備する消防施設整備事業費は384,308千円で30.4%を占め、前年と比較すると45,925千円の減となっています。

主な事業としては消防救急デジタル無線の整備工事や女性消防職員用の仮眠室を新たに整備するため庁舎の改修工事などを行いました。

予 防

1 防火対象物の状況

平成27年度末の防火対象物は総数3,203棟で、市別では養父市1,503棟、朝来市1,700棟となっています。用途別では「その他の事業所」が701棟と最も多く約22%を占めており、続いて「工場等」(514棟)、「共同住宅等」(340棟)となっています。

また、これら多くの人が利用する様々な防火対象物に立ち入り、防火管理や消防用設備等の維持管理を検査する予防査察件数は693件(棟数)で、査察後は対象物の関係者に対し防火安全上の不備欠陥事項の改修等を指導しています。

2 危険物施設の状況

平成27年度末の危険物施設数は総数341施設で、市別では養父市175施設、朝来市166施設となっています。施設区分別では「地下タンク貯蔵所」が112施設と最も多く約32%を占めており、続いて「一般取扱所」(62施設)、「給油取扱所」(51施設)となっています。

また、危険物施設の保安状況を検査する立入検査回数は288回で、全施設の84%に実施し、危険物施設が技術上の基準に適合し、適切に維持管理されるよう指導しています。

3 自主防災組織の育成

管内それぞれの地域の自主防災体制を強化するため、両市内で地域に根ざした自主防災組織の育成に協力しています。

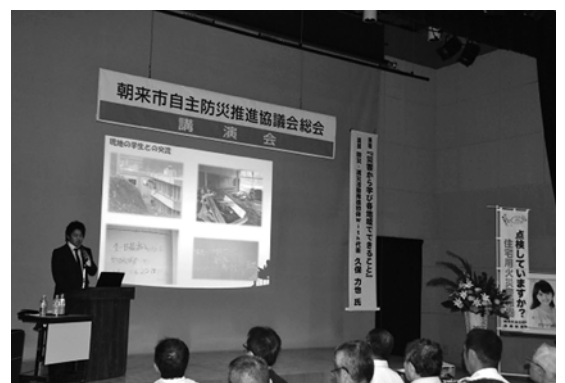


養父市内には保育園児と小学生及び地域の女性からなる「養父市幼少年婦人防火委員会」が設立されており、防火研修や救急講習会など多彩な行事を通じて防災思想の普及啓蒙を重点に活動しています。

(左) 少年防火クラブ員救急講習会のようす(養父市)

(下) 朝来市自主防災推進協議会での防災講演会のようす(朝来市)

また、朝来市内には事業所等と市内全地区を会員とした「朝来市自主防災推進協議会」が設立されており、防災講演会や春・秋の火災予防運動への活動助成を通じて地域ぐるみで自主防災に取り組んでいます。



火 災

平成27年中の出火件数は31件で、前年(32件)と比較すると1件の減少となっています。

火災種別でみると、建物火災が17件、車両火災が2件、林野火災が1件、その他の火災が11件となっています。

地域別の発生状況をみると、朝来市内の出火件数は18件で、その内訳は、建物火災が9件、車両火災が1件、林野火災が1件、その他の火災が7件となっています。

養父市内の出火件数は13件で、その内訳は、建物火災が8件、車両火災が1件、その他の火災が4件となっています。

火災の損害は440,766千円で、前年と比較すると380,952千円増額しています。

死傷者をみると、建物火災で死者が3名、負傷者が6名、その他火災で死者が1名、負傷者が1名発生しています。



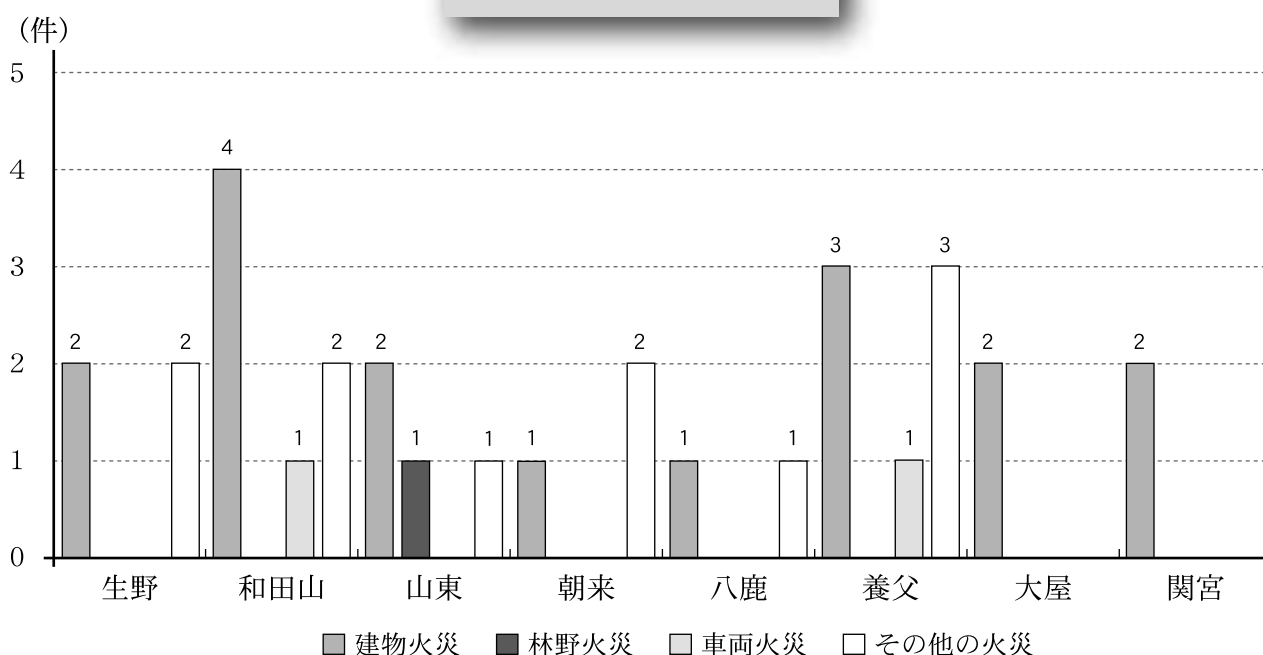
火災の状況

区 分		平 成 2 7 年	平 成 2 6 年	比 較 増 減
出 火 件 数	総 数	31	32	△1
	建 物 火 災	17	14	3
	林 野 火 災	1	1	
	車 両 火 災	2	2	
	そ の 他 の 火 災	11	15	△4
焼 損 棟 数	総 数	26	23	3
	全 焼	11	12	△1
	半 焼	1	1	
	部 分 焼	9	5	4
	ば や	5	5	
焼 損 面 積	建 物 (m ²)	5,824	1,466	4,358
	林 野 (a)	3	34	△31
損 害 額 (千円)	総 数	440,766	59,814	380,952
	建 物	438,129	57,530	380,599
	林 野		453	△453
	車 両	2,634	1,048	1,586
	そ の 他	3	783	△780
り 災 世 帯 数		12	9	3
り 災 人 員		32	20	12
死 者		4	1	3
負 傷 者		7	5	2

地域別の状況

区 分		総数	朝 来 市					養 父 市				
			計	生野	和田山	山 東	朝 来	計	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮
出 火 件 数	総 数	31	18	4	7	4	3	13	2	7	2	2
	建 物 火 災	17	9	2	4	2	1	8	1	3	2	2
	林 野 火 災	1	1			1						
	車 両 火 災	2	1		1			1		1		
	その他の火災	11	7	2	2	1	2	4	1	3		
焼 損 棟 数	総 数	26	10	3	5	1	1	16	2	9	5	
	全 焼	11	3	1	1	1		8	1	5	2	
	半 焼	1						1	1			
	部 分 焼	9	5	2	2		1	4		3	1	
	ぼ や	5	2		2			3		1	2	
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	5,824	4,001	109	20	3,870	2	1,823	21	1,467	335	
	林 野 (a)	3	3			3						
損 害 額 (千 円)		440,766	403,435	4,837	4,967	393,629	2	37,331	2,760	23,450	11,121	
り 災 世 帯 数		12	2	1		1		10		4	6	
り 災 人 員		32	4	3		1		28		6	22	
死 者		4						4	1	2	1	
負 傷 者		7	4			3	1	3		1	2	

地域別出火件数



救 急

平成27年中の救急件数は3,046件、搬送人員は2,759人で、前年(3,006件、2,733人)と比較すると件数で40件の増加、人員で26人の増加となっています。

事故種別でみると、急病が1,743件で最も多く、次いで一般負傷502件、転院搬送340件、交通事故268件と続いています。

朝来市内の救急件数は1,532件、養父市内の救急件数は1,511件、管外が3件となっています。

地域別の救急件数は、朝来市内は、生野183件、和田山817件、山東257件、朝来275件となっており、養父市内は、八鹿592件、養父355件、大屋249件、関宮315件となっています。



救急の状況

区 分	平成27年		平成26年		比 較 増 減
	件 数	比 率(%)	件 数	比 率(%)	
総 数	3,046	100	3,006	100	40
火 災	6	0.2	4	0.2	2
自 然 災 害					
水 難	4	0.1	2	0.1	2
交 通 事 故	268	8.8	280	9.3	△12
労 働 災 害	29	1.0	34	1.1	△ 5
運 動 競 技	14	0.5	16	0.5	△ 2
一 般 負 傷	502	16.5	506	16.8	△ 4
加 害	6	0.2	7	0.2	△ 1
自 損 行 為	13	0.4	19	0.6	△ 6
急 病	1,743	57.2	1,763	58.7	△20
転 院 搬 送	340	11.1	261	8.7	79
そ の 他	121	4.0	114	3.8	7

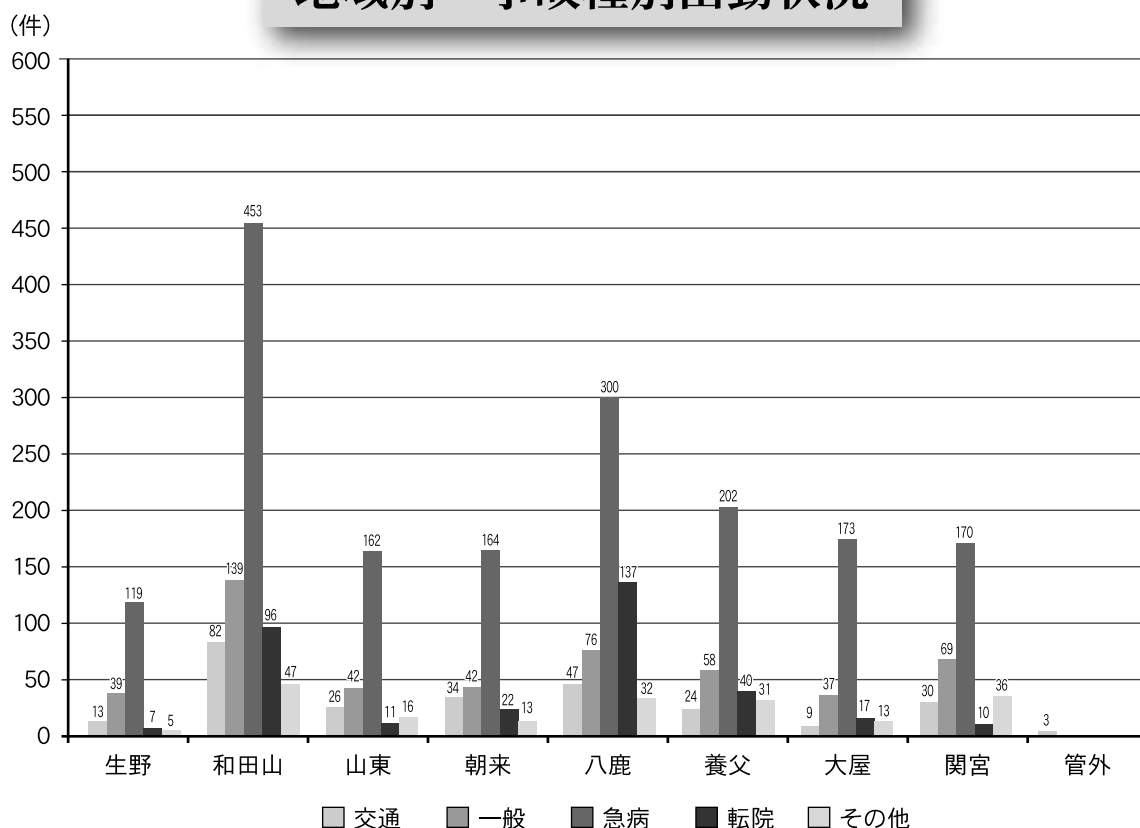
※その他とは、上記以外のもの(例)医師搬送など。

地域別の状況

(単位:件)

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		計	生野	和田山	山東	朝来	計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	3,046	1,532	183	817	257	275	1,511	592	355	249	315	3
火 災	6	2			2		4	1	1	2		
自 然 災 害												
水 難 事 故	4	3	1	2			1		1			
交 通 事 故	268	155	13	82	26	34	110	47	24	9	30	3
労 働 災 害	29	16	2	9	2	3	13	3	4	4	2	
運 動 競 技	14	4		2	1	1	10	5	2		3	
一 般 負 傷	502	262	39	139	42	42	240	76	58	37	69	
加 害	6	3		3			3	1	1		1	
自 損	13	9	1	3	4	1	4	1	1		2	
急 病	1,743	898	119	453	162	164	845	300	202	173	170	
転 院 搬 送	340	136	7	96	11	22	204	137	40	17	10	
そ の 他	121	44	1	28	7	8	77	21	21	7	28	

地域別・事故種別出動状況



救 助

平成27年中の救助出動件数は74件で、前年(62件)と比較すると12件の増加となっています。

事故種別でみると、交通事故が42件、火災が3件、水難事故が3件、機械による事故が2件、建物等による事故が1件、その他の事故が23件となっています。

地域別の出動状況を見ると、朝来市内は生野4件、和田山15件、山東5件、朝来6件、養父市内は八鹿が8件、養父10件、大屋10件、関宮15件となっており、管外が1件となっています。

救助隊が救助活動を行った件数は49件で、54人を救助しました。



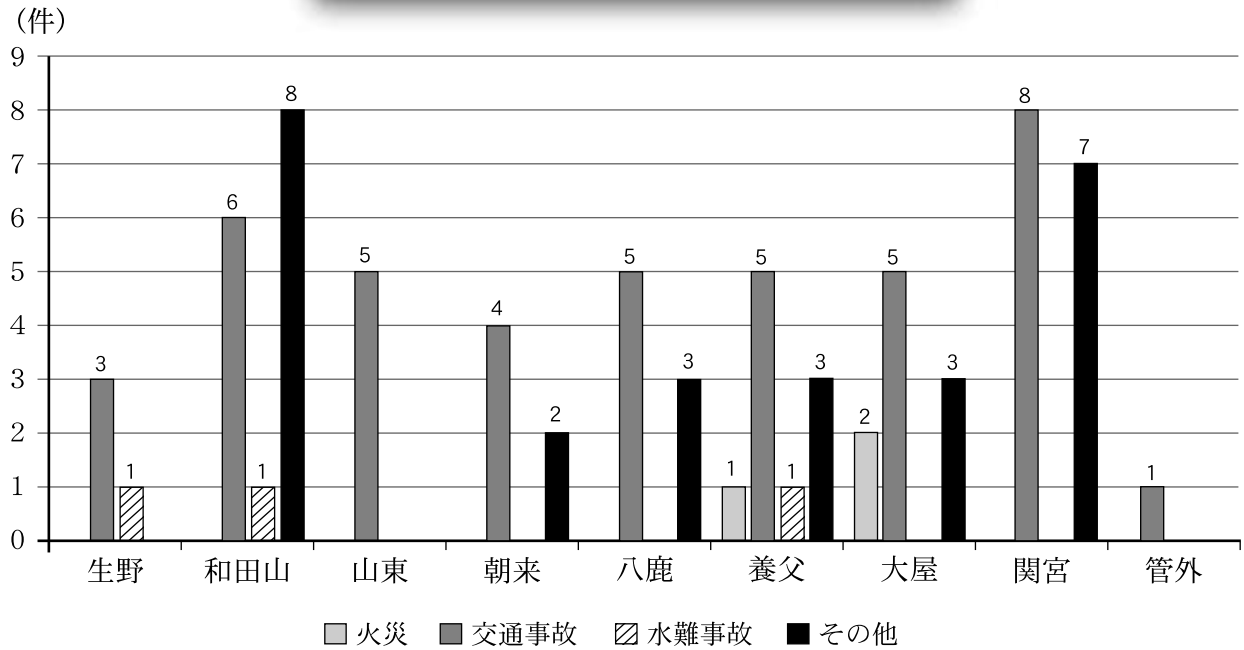
救助の状況

区 分	平成27年	平成26年	比較増減
	件数	件数	
総 数	74	62	12
火 災	3	1	2
交 通 事 故	42	42	
水 難 事 故	3	2	1
自 然 災 害			
機 械 に よ る 事 故	2	2	
建 物 等 に よ る 事 故	1		1
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故			
破 裂 事 故			
そ の 他 の 事 故	23	15	8

地域別の状況

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		計	生野	和田山	山東	朝来	計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	74	30	4	15	5	6	43	8	10	10	15	1
火 災	3						3		1	2		
交 通 事 故	42	18	3	6	5	4	23	5	5	5	8	1
水 難 事 故	3	2	1	1			1		1			
自 然 災 害												
機械による事故	2	2		1		1						
建物等による事故	1						1	1				
ガス及び酸欠事故												
破 裂 事 故												
その他の事故	23	8		7		1	15	2	3	3	7	
救助活動件数	49	23	2	13	4	4	25	3	7	7	8	1
救 助 人 員	54	25	2	14	5	4	28	6	7	7	8	1

地域別・事故種別出動状況



通 信

平成27年中の119番受信件数は3,714件で、その内訳は緊急通報が2,702件、緊急外通報が1,012件となっています。

前年と比較すると、緊急通報が40件増加し、緊急外通報が78件増加しています。

また、携帯電話からの119番通報は1,036件で、前年と比較すると102件の増加となっています。



通信の状況

		平成 26 年	うち、 携帯電話	平成 27 年	うち、 携帯電話	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総 数		3,596	934	3,714	1,036	331	291	318	263	344	244	319	349	337	316	277	325
緊急 通報	火災通報	23	11	22	8			6	4	4	1	2	1		2	1	1
	救急通報	2,397	574	2,412	632	238	200	225	176	213	161	211	231	192	198	163	204
	病院紹介	85	35	103	56	9	12	6	3	17	10	12	9	5	5	7	8
	第2報等	130	62	131	62	11	7	12	12	14	11	10	14	15	6	6	13
	ガス漏検索 誤報等	27	12	34	16	3	2	1	3	1	1	3	3	5	6	5	1
	計	2,662	694	2,702	774	261	221	250	198	249	184	238	258	217	217	182	227
緊急 外 通報	通報訓練	347	18	324	7	12	23	18	9	27	33	28	13	34	43	42	42
	間 違 い	136	69	115	50	16	9	8	13	13	4	6	17	12	7	4	6
	いたずら	10	4	1									1				
	問 合 せ	52	14	43	13	5	5		4	4	1	5	3	8	3	4	1
	そ の 他	389	135	529	192	37	33	42	39	51	22	42	57	66	46	45	49
	計	934	240	1,012	262	70	70	68	65	95	60	81	91	120	99	95	98

統計資料編

管 理 編

管
理
編

平成 27 年度予算状況

(単位:千円)

性質別等		当初予算額	補正予算額	現計予算額	比 率 (%)
歳入	総 計	1,264,146	△15,903	1,248,243	100.0
	分 担 金	887,761	△15,903	871,858	69.8
	使用料・手数料	801		801	0.1
	国 県 支 出 金				
	繰 入 金				
	繰 越 金				
	地 方 債	365,900		365,900	29.3
	諸 収 入 他	9,684		9,684	0.8
歳出	総 計	1,264,146	△15,903	1,248,243	100.0
	人 件 費	790,057	△12,734	777,323	62.3
	物 件 費	75,281	△3,000	72,281	5.8
	建 設 事 業 費	384,308	△1,600	382,708	30.6
	維 持 補 修 費	5,549	1,431	6,980	0.6
	補 助 費 等	8,951		8,951	0.7
	公 債 費				

平成 27 年度職員給与費の実態

職員給与

(単位:千円)

職員数 (A)	平成25年度給与費				一人当たりの給与費 (B)/(A)
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
97	348,679	109,868	131,183	589,730	6,080

初任給の状況(高校卒)

	消防職	一般行政職	国
初任給	1 級 8 号給	1 級 5 号給	1 級 5 号棒
金 額	145,400円	142,100円	142,100円

階級別勤続年数

(H28.3.31現在)

階級 勤続年数	総数	消 防 司令長	消防 司令	消 防 司令補	消防 士長	消 防 副士長	消防士
総 数	97	1	25	37	10	5	19
1 年 未 満	7						7
1 年～5 年	16				3	1	12
6 年～10年	10			2	4	4	
11年～15年	9			7	2		
16年～20年	12			12			
21年～25年	10			10			
26年～30年	7		2	5			
31年～35年	7		6	1			
36 年 以 上	19	1	17		1		

年齢別職員構成

(H28.3.31現在)

階級 勤続年数	総数	消 防 司令長	消防 司令	消 防 司令補	消防 士長	消 防 副士長	消防士
総 数	97	1	25	37	10	5	19
20 歳 以 下	4						4
21歳～25歳	15					1	14
26歳～30歳	11				6	4	1
31歳～35歳	9			6	3		
36歳～40歳	10			10			
41歳～45歳	13			13			
46歳～50歳	6			6			
51歳～55歳	11		9	2			
56 歳 以 上	18	1	16		1		

研修派遣状況

(単位:人)

研修科目 \ 階 級	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数	28		2	10	2		14
《 消 防 大 学 校 》	1			1			
幹 部 科	1			1			
《 兵 庫 県 消 防 学 校 》	25		1	8	2		14
初 任 教 育	7						7
特 殊 災 害 科	1			1			
予 防 査 察 科	1			1			
火 災 調 査 科	1			1			
救 急 科	7						7
救 助 科	1				1		
初 級 幹 部 科	1			1			
救 急 救 命 士 養 成 課 程	1			1			
救 急 救 命 士 追 加 講 習 (ビデオ喉頭鏡追加講習)	2			2			
惨 事 ス ト レ ス 研 修	1			1			
災 害 現 場 指 揮 科	1		1				
山岳用救助器具取扱技術研修	1				1		
《 兵 庫 県 自 治 研 修 所 》	2		1	1			
管 理 職 研 修	1		1				
監 督 職 研 修	1			1			

階級別資格取得状況

(H28.3.31現在)

階 級 資 格		総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
運 転 免 許	大 型	63	1	15	32	8	4	3
	普 通	97	1	25	37	10	5	19
危 険 物 取 扱 者 (甲 種)		4	1	3				
危 険 物 取 扱 者 (乙 種)		73	1	24	31	7	4	6
危 険 物 取 扱 者 (丙 種)		16		6	10			
消 防 設 備 士 (甲 種)								
消 防 設 備 士 (乙 種)		16	1	8	5	1	1	
特 殊 無 線 乙		97	1	25	37	10	5	19
救 急 救 命 士 資 格		38		12	20	3		3
気 管 挿 管 認 定		26		6	18	2		
薬 剤 投 与 認 定		28		6	20	2		
救 急 隊 員 資 格 (Ⅱ 課 程)		50	1	25	23	1		
救 急 隊 員 資 格 (標 準 課 程)		47			14	9	5	19
応 急 手 当 指 導 員		97	1	25	37	10	5	19
救 助 隊 員 資 格 (1 号)		38		6	27	5		
小 型 船 舶 操 縦 士		12		1	9	1		1
玉 掛 技 能 者		23		4	13	4	1	1
移 動 式 ク レ ー ン		23		4	13	4		2
衛 生 管 理 者		1		1				
安 全 衛 生 推 進 者		3		3				
予 防 技 術 資 格 者		12	1	6	5			

平成 26 年度一般会計決算の概要

(歳入)

(単位:千円)

科 目	予算額(A)	収入済額(B)	比較(B - A)
歳 入 合 計	1,361,744	1,432,202	70,458
分 担 金 及 び 負 担 金	931,480	994,314	62,834
使 用 料 ・ 手 数 料	800	1,342	542
地 方 債	300,000	297,700	△ 2,300
繰越費及び繰越事業費 繰越 繰越 額	128,022	128,022	0
諸 収 入	1,442	10,824	9,382

(歳出)

科 目	予算額(A)	支払済額(B)	比較(A - B)
歳 出 合 計	1,361,744	1,324,370	37,374
常 備 消 防 費	885,609	878,766	6,843
消 防 施 設 費	476,135	445,604	30,531

歳 入 総 額 1,432,202千円

歳 出 総 額 1,324,370千円

歳入歳出差引残額 107,832千円

消防相互応援協定等の締結状況

(平成28年3月31日現在)

締結年月日	内 容
平成25年4月1日	豊岡市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	美方郡広域事務組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	姫路市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	丹波市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	西はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	鳥取県東部広域行政管理組合消防局と消防相互応援に関する協定(新規)
平成25年4月1日	福知山市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	兵庫県道路公社、姫路市と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成25年4月1日	国土交通省豊岡河川国道事務所、兵庫県道路公社、丹波市と北近畿豊岡自動車道春日ジャンクション・インターチェンジから八鹿氷ノ山インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定書(改定)
平成25年10月23日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)
平成27年2月15日	南但消防本部と朝来市消防団との消防活動に関する覚書(改定)
平成27年2月15日	養父市及び南但消防本部並びに養父市消防団との現場活動等に関する覚書(新規)

予 防 編

予
防
編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物）

（H28.3.31現在）

用 途 別		防 火 対 象 物									3 階 以 上 対 象 物								
		総数	朝 来 市				養 父 市				総数	朝 来 市				養 父 市			
			生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮
総 数		3,203	236	952	282	230	637	339	239	288	413	31	124	27	13	113	27	9	69
1	イ 映 画 館 等	2	1	1							2	1	1						
	ロ 集 会 場 等	189	10	37	22	20	31	20	21	28	7		4		1	1	1		
2	イ キャバレー等	1		1															
	ロ 遊 技 場 等	5		3			2												
	ニ カラオケボックス等	1		1															
3	イ 料 理 店 等																		
	ロ 飲 食 店 等	78	2	28	7	2	13	16	4	6	5		1	1		3			
4	店 舗 等	159	9	79	13	13	18	18	1	8	6		4			2			
5	イ 旅館・ホテル等	160	8	10	13	8	11	6	10	94	60		8	2		1	2	2	45
	ロ 共 同 住 宅 等	340	31	149	32	20	56	36	6	10	87	9	27	10	1	27	8		5
6	イ 病 院 等	48	3	19	3	5	12	5		1	9		3		4	2			
	ロ グループホーム等	41	3	6	6	9	4	3	8	2	4		1		1	1			1
	ハ デイサービス・保育所	94	8	24	10	9	19	11	9	4	2				1		1		
	ニ 幼 稚 園 等	13		10	1	1	1				2		2						
7	学 校 等	111	23	18	7	6	42	7	4	4	39	7	11	2	1	11	2	2	3
8	図 書 館 等	17	6	3	1	2		1	4		1		1						
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公 衆 浴 場 等	5		1	1		1		1	1									
10	車両の停車場	4	1	1			1	1			1		1						
11	神社・寺院等	93	11	9	3	1	20	24	11	14	1	1							
12	イ 工 場 等	514	42	169	51	45	101	54	30	22	23	7	3	1	1	5	3		3
	ロ 映画スタジオ等	3				1	1			1									
13	イ 駐 車 場 等	43	1	11	4	7	10	3	2	5									
14	倉 庫	281	25	99	29	20	58	22	15	13	9	1	2	2		4			
15	その他の事業所	701	40	171	58	48	154	78	98	54	72	3	25	5	1	20	8	4	6
16	イ 複合用途(特定)	170	3	59	8	6	50	19	11	14	51	1	19	2	1	22	1	1	4
	ロ 複合用途(非特定)	108	6	42	7	4	25	14	4	6	31	1	11	2	1	13	1		2
17	文化財建造物	22	3	1	6	3	7	1		1	1					1			

防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）

（H28.3.31現在）

用 途 別		査 察 件 数			防 火 管 理 者 ・ 消 防 計 画														
					対 象 数			選 任 数			選 任 率（％）			計 画 届 出 数			届 出 率（％）		
		総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市
総 数		693	352	341	851	399	452	758	357	401	89	89	89	720	349	371	85	87	82
1	イ 映 画 館 等	2	2		2	2		2	2		100	100		2	2		100	100	
	ロ 集 会 場 等	34	19	15	175	81	94	116	52	64	66	64	68	110	50	60	63	62	65
2	イ キャバレー等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
	ロ 遊 技 場 等	3	2	1	4	2	2	4	2	2	100	100	100	4	2	2	100	100	100
	ニ カラオケボックス等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
3	イ 料 理 店 等																		
	ロ 飲 食 店 等	30	9	21	62	27	35	54	23	31	87	85	89	48	22	26	77	81	74
4	店 舗 等	118	84	34	97	64	33	92	61	31	95	95	94	89	59	30	92	92	91
5	イ 旅館・ホテル等	139	39	100	117	20	97	117	20	97	100	100	100	116	19	97	99	95	100
	ロ 共 同 住 宅 等	8	7	1	17	11	6	16	11	5	94	100	83	16	11	5	94	100	83
6	イ 病 院 等	27	17	10	18	14	4	16	12	4	89	86	100	16	12	4	89	86	100
	ロ グループホーム等	44	27	17	24	14	10	23	13	10	96	93	100	23	13	10	96	93	100
	ハ デイサービス・保育所	50	37	13	62	29	33	58	29	29	94	100	88	58	29	29	94	100	88
	ニ 幼 稚 園 等	6	6		2	1	1	2	1	1	100	100	100	2	1	1	100	100	100
7	学 校 等	24	14	10	36	19	17	36	19	17	100	100	100	36	19	17	100	100	100
8	図 書 館 等	4	4		11	8	3	10	8	2	91	100	67	10	8	2	91	100	67
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公 衆 浴 場 等	3		3	5	2	3	5	2	3	100	100	100	5	2	3	100	100	100
10	車両の停車場																		
11	神社・寺院等	15	8	7	4	1	3	4	1	3	100	100	100	4	1	3	100	100	100
12	イ 工 場 等	43	18	25	33	23	10	33	23	10	100	100	100	30	23	7	91	100	70
	ロ 映画スタジオ等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
13	イ 駐 車 場 等	3	2	1															
14	倉 庫	5	3	2	1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
15	その他の事業所	78	28	50	85	39	46	78	36	42	92	92	91	74	36	38	87	92	83
16	イ 複合用途(特定)	44	18	26	84	34	50	79	34	45	94	100	90	67	33	34	80	97	68
	ロ 複合用途(非特定)	4	3	1	7	4	3	7	4	3	100	100	100	5	3	2	71	75	67
17	文化財建造物	9	5	4	2		2	2		2	100		100	1		1	50		50

確認申請処理状況

(H28.3.31現在)

種 別	総数	朝来市	養父市	同意	朝来市	養父市	指導による同意	朝来市	養父市	不同意	朝来市	養父市
総 数	89	64	25	42	33	9	47	31	16			
《工 事 別》												
新 築	66	49	17	36	28	8	30	21	9			
増 築	18	10	8	6	5	1	12	5	7			
改 築	2	2					2	2				
移 転												
修 繕												
模 様 替	1	1					1	1				
用途変更	2	2					2	2				
《構 造 別》												
耐火構造	13	11	2	4	4		9	7	2			
準耐火構造	17	17		9	9		8	8				
そ の 他	59	36	23	29	20	9	30	16	14			

消防教室実施状況

(H28.3.31現在)

実施区分		対 象 数			参加人員			時 間			消防職員		
		合計	朝来市	養父市	合計	朝来市	養父市	合計	朝来市	養父市	合計	朝来市	養父市
総 数		296	185	111	12,207	7,574	4,633	428:37	254:27	174:10	733	428	305
地 区		49	36	13	1,907	1,634	273	61:34	42:15	19:20	83	53	30
婦 人 会													
老 人 会		1		1	34		34	1:30		1:30	2		2
P T A		19	9	10	720	326	394	26:20	9:50	16:30	37	13	24
学 校		61	35	26	4,841	2,652	2,189	91:32	52:32	39:00	213	122	91
幼・保育所		37	24	13	1,584	1,071	513	42:55	26:40	16:15	127	74	53
事業所	公共施設	18	8	10	333	168	165	27:10	9:15	17:55	30	13	17
	病院・福祉施設	46	23	23	1,413	618	795	52:10	24:20	27:50	98	47	51
	旅館・ホテル	3	3		49	49		5:20	5:20		4	4	
	店 舗 等	9	9		249	249		17:55	17:55		19	19	
	工 場 等	13	8	5	319	194	125	17:20	11:30	5:50	26	16	10
消 防 団		8	2	6	187	62	125	24:00	6:00	18:00	29	6	23
そ の 他		32	28	4	571	551	20	60:50	48:50	12:00	65	61	4

危険物施設数及び立入検査回数

(H28.3.31現在)

危険物施設		総 数	朝 来 市					養 父 市					立入検査 回数	
			小 計	生 野	和 田 山	山 東	朝 来	小 計	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮	朝 来 署	養 父 署
総 数		341	166	39	78	29	20	175	63	30	11	71	141	147
製 造 所		3	2	2				1		1			4	2
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	32	19	8	8	2	1	13	8	2	2	1	6	3
	屋外タンク貯蔵所	36	28	10	8	7	3	8	3			5	18	1
	屋内タンク貯蔵所	17	7	4	2	1		10	7	1		2		3
	地下タンク貯蔵所	112	38	4	24	7	3	74	16	9	3	46	38	68
	簡易タンク貯蔵所	1	1			1							1	
	移動タンク貯蔵所	23	12	1	3	3	5	11	5	3		3	10	11
	屋 外 貯 蔵 所	4	4	2	2								6	
取 扱 所	給 油 取 扱 所	51	24	2	14	4	4	27	13	6	3	5	26	28
	一 般 取 扱 所	62	31	6	17	4	4	31	11	8	3	9	32	31

危険物施設設置許可数及び変更許可の状況

(H28.3.31現在)

危険物施設	総 数	変 更 許 可										設 置 許 可	
		構造に関するもの		付属機器に関するもの		配管に関するもの		タンクに関するもの		その他			
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総 数	40	12	10	2	1	1	2		2		1	6	3
製 造 所	4		3			1							
屋 内 貯 蔵 所													
屋外タンク貯蔵所	1												1
屋内タンク貯蔵所	1	1											
地下タンク貯蔵所	6						1		2			2	1
簡易タンク貯蔵所													
移動タンク貯蔵所	4										1	2	1
屋 外 貯 蔵 所													
給 油 取 扱 所	10	2	4	2	1		1						
一 般 取 扱 所	14	9	3									2	

市別・数量別危険物施設数

(H28.3.31現在)

危険物施設	総 数	5倍以上		5倍を越え 10倍以下		10倍を越え 50倍以下		50倍を越え 100倍以下		100倍を越え 200倍以下		200倍を 越えるもの	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総 数	341	78	52	34	48	29	55	7	10	11	7	7	3
製 造 所	3					1		1	1				
貯 蔵 所	225	62	37	24	38	19	38	2	3	2			
屋 内 貯 蔵 所	32	11	5	6	4	1	2		2	1			
屋外タンク貯蔵所	36	7	2	6		12	6	2		1			
屋内タンク貯蔵所	17	4	4	3	6								
地下タンク貯蔵所	112	25	15	9	28	4	30		1				
簡易タンク貯蔵所	1	1											
移動タンク貯蔵所	23	12	11										
屋 外 貯 蔵 所	4	2				2							
取 扱 所	113	16	15	10	10	9	17	4	6	9	7	7	3
給油取扱所(営業用)	35		1					3	5	9	7	7	3
給油取扱所(自家用)	16	3			2	2	9						
一 般 取 扱 所	62	13	14	10	8	7	8	1	1				

市別・類別危険物施設数

(H28.3.31現在)

危険物施設	総 数	1 類		2 類		3 類		4 類		5 類		6 類		混 在	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総 数	341				1			164	171	1	1			1	2
製 造 所	3							2							1
貯 蔵 所	225				1			108	114		1			1	
屋 内 貯 蔵 所	32				1			18	11		1			1	
屋外タンク貯蔵所	36							28	8						
屋内タンク貯蔵所	17							7	10						
地下タンク貯蔵所	112							38	74						
簡易タンク貯蔵所	1							1							
移動タンク貯蔵所	23							12	11						
屋 外 貯 蔵 所	4							4							
取 扱 所	113							54	57	1					1
給油取扱所(営業用)	35							19	16						
給油取扱所(自家用)	16							5	11						
一 般 取 扱 所	62							30	30	1					1

各種届出等受理状況

(H28.3.31現在)

届 出 別		地 域 別 合 計	朝 来 市	養 父 市
防火管理者選任(解任)届出書		143	89	54
消防計画届出書		204	124	80
消防用設備等着工届出書		91	60	31
消防用設備等工事計画届出書		60	39	21
消防用設備等設置届出書		227	153	74
消防用設備等緩和願		5	5	
消防用設備等点検結果報告書		511	264	247
防火対象物定期点検結果報告書		36	13	23
防火自主点検結果報告書				
防火対象物使用開始届出書		90	54	36
火を使用する 設備等の設置 届出書	熱風炉			
	炉・かまど			
	ボイラー・給湯湯沸設備	12	6	6
	乾燥設備			
	サウナ設備			
	温風暖房機			
電気設備 設置届出書	変電設備	26	21	5
	発電設備	14	9	5
	蓄電池設備	15	11	4
	ネオン管灯設備			
劇場等の裸火使用許可申請書		9	9	
合 計		1,443	857	586

警 防 編

警
防
編

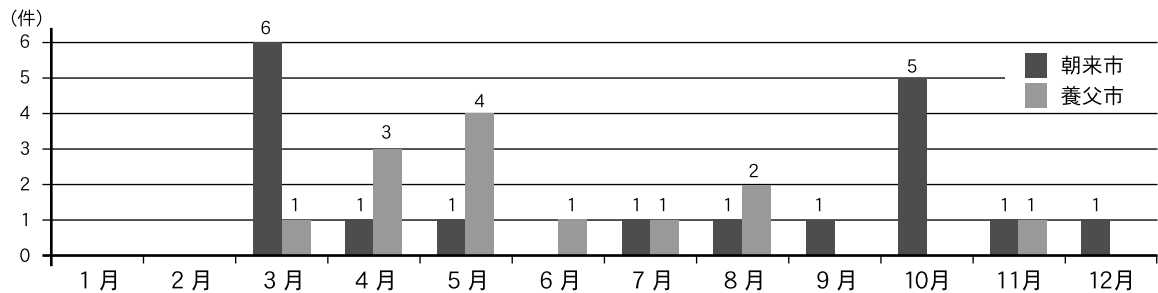
年次別火災発生状況

区 分		年 別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
出火件数	総 数		34	37	36	32	31
	朝来市	小 計	16	19	23	19	18
		建 物 火 災	7	12	7	10	9
		林 野 火 災	3	2	3	1	1
		車 両 火 災	2	1	2		1
		その他の火災	4	4	11	8	7
	養父市	小 計	18	18	13	13	13
		建 物 火 災	8	13	4	4	8
		林 野 火 災	1		2		
		車 両 火 災	3	3	2	2	1
		その他の火災	6	2	5	7	4
焼損棟数	総 数		17	32	14	23	26
	朝来市	小 計	8	15	9	11	10
		全 焼	2	3	4	3	3
		半 焼	1	2	1	1	
		部 分 焼	2	4		5	5
		ば や	3	6	4	2	2
	養父市	小 計	9	17	5	12	16
		全 焼	4	3	2	9	8
		半 焼	1	5	1		1
		部 分 焼	1	3	2		4
		ば や	3	6		3	3
焼損面積	総数	建 物【㎡】	1,252	1,924	967	1,466	5,824
		林 野 (a)	804	3	33	34	3
	朝来市	建 物【㎡】	532	754	595	423	4,001
		林 野 (a)	4	3	26	34	3
	養父市	建 物【㎡】	720	1,170	372	1,043	1,823
		林 野 (a)	800		7		

区 分		年 別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
り 災 世 帯	総 数		16	18	4	9	12
	朝 来 市	小 計	7	8	3	6	2
		全 損	1	1	2	1	1
		半 損	1	1			
		小 損	5	6	1	5	1
	養 父 市	小 計	9	10	1	3	10
		全 損	4	3		1	3
		半 損	1	3	1		
		小 損	4	4		2	7
り 災 人 員	総 数		44	54	7	20	32
	朝 来 市		19	23	5	12	4
	養 父 市		25	31	2	8	28
損 害 額 (千円)	総 数		91,452	144,098	38,753	59,814	440,776
	朝 来 市	小 計	59,316	70,172	34,957	12,445	403,435
		建 物	59,252	70,128	33,621	11,212	401,050
		林 野			556	453	
		車 両	63	37	190	2	2,384
		そ の 他	1	7	590	778	1
	養 父 市	小 計	32,136	73,926	3,796	47,369	37,331
		建 物	18,168	73,405	3,404	46,318	37,079
		林 野	12,500		30		
		車 両	493	521	273	1,046	250
		そ の 他	975		89	5	2
死 傷 者	総 数	死 者	3	3		1	4
		負 傷 者	7	8	4	5	7
	朝 来 市	死 者		1		1	
		負 傷 者	1	3	3	2	4
	養 父 市	死 者	3	2			4
		負 傷 者	6	5	1	3	3

月別火災発生状況

種 別		月 別	総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総 数			31			7	4	5	1	2	3	1	5	2	1
朝 来 市	小 計		18			6	1	1		1	1	1	5	1	1
	建物火災		9			4	1			1		1	1		1
	林野火災		1					1							
	車両火災		1			1									
	その他の火災		7			1					1		4	1	
養 父 市	小 計		13			1	3	4	1	1	2			1	
	建物火災		8			1	2	1	1	1	1			1	
	林野火災														
	車両火災		1					1							
	その他の火災		4				1	2			1				

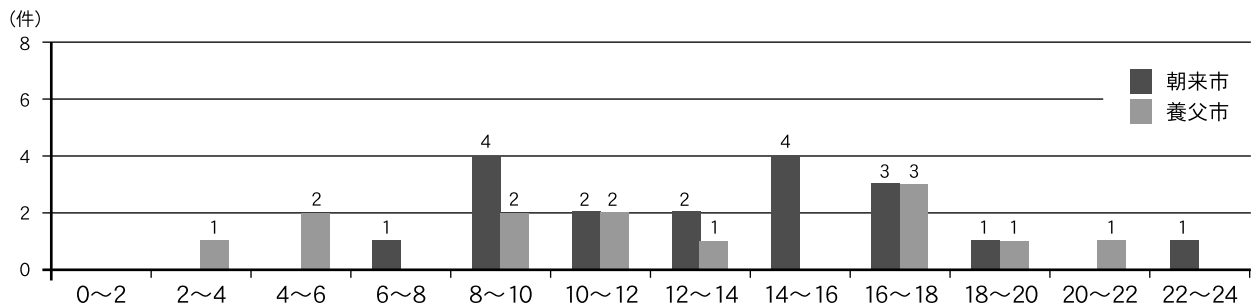


曜日別火災発生状況

種 別		曜 日 別	総 数	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
総 数			31	7	3	1	7	6	3	4
朝 来 市	小 計		18	5	2	1	4	4		2
	建物火災		9	1	1	1	4	2		
	林野火災		1					1		
	車両火災		1	1						
	その他の火災		7	3	1			1		2
養 父 市	小 計		13	2	1		3	2	3	2
	建物火災		8	2	1		1	1	3	
	林野火災									
	車両火災		1				1			
	その他の火災		4				1	1		2

時間別火災発生状況

時間別 種 別		総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		31		1	2	1	6	4	3	4	6	2	1	1
朝 来 市	小 計	18				1	4	2	2	4	3	1		1
	建物火災	9					2			2	3	1		1
	林野火災	1							1					
	車両火災	1				1								
	その他の火災	7					2	2	1	2				
養 父 市	小 計	13		1	2		2	2	1		3	1	1	
	建物火災	8			1		1	1	1		2	1	1	
	林野火災													
	車両火災	1		1										
	その他の火災	4			1		1	1			1			



使用した消防水利

消防水利	平成27年					平成26年
	総 数	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	
総 数	17	11	1	2	3	14
自然水利	4	3			1	3
防火水槽	2	2				2
消 火 栓	7	4	1	1	1	2
積載水等	4	2		1	1	7

(事後聞知3件及び、放水なしの11件は除く)

覚知から現場到着までの所要時間

地域別 時間別		総 数	5分未満	5～10分	11～15分	16～20分	20分以上	平 均
総 数		28		9	11	5	3	13.6
朝 来 市	小 計	16		5	8	1	2	15
	生 野	3		2			1	19
	和 田 山	7		3	3		1	12
	山 東	4			3	1		14.3
	朝 来	2			2			14.5
養 父 市	小 計	12		4	3	4	1	12.2
	八 鹿	2		1		1		13
	養 父	8		1	3	3	1	16.5
	大 屋	2		2				7
	関 宮							

(事後聞知 3 件除く)

放水開始から鎮火までの所要時間

地域別 時間別		総 数	5分以内	6分～10分	11分～20分	21分～30分	31分～40分	41分～50分	51分～60分	61分以上	平均
総 数		17	1	2	4	1		2	2	5	48.4
朝 来 市	小 計	10	1	2	1	1		2		3	51.3
	生 野	2				1		1			16.5
	和 田 山	3	1	1				1			20.3
	山 東	4		1						3	157.3
	朝 来	1			1						11
養 父 市	小 計	7			3				2	2	45.5
	八 鹿										
	養 父	5			2				2	1	41
	大 屋	2			1					1	50
	関 宮										

(事後聞知 3 件及び、放水なしの11件は除く)

出 火 原 因

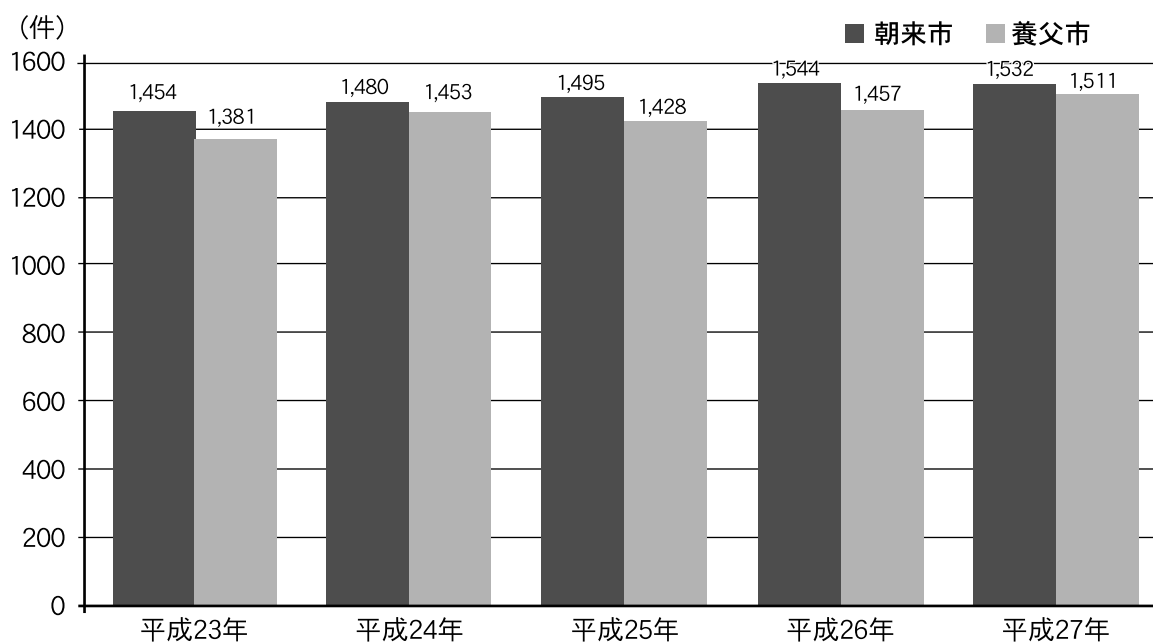
区 分		平 成 2 7 年					平 成 2 6 年				
		総 数	建 物	林 野	車 両	その他	総 数	建 物	林 野	車 両	その他
総 数		31	17	1	2	11	32	14	1	2	15
裸 火	タ バ コ	1	1				2	2			
	虫 焼 火						1				1
	焼 却 火	7	1			6	8	1	1		6
	火 の 粉						1				1
	虫 駆 除 の 火						1				1
人 的	火 あ そ び	1	1								
	放火(放火の疑い)						2			1	1
石 油 ・ ガ ス 類	ス ト ー ブ						2	2			
	風 呂 か ま ど						1	1			
	石 油 機 器						1	1			
	ガ ス 機 器										
	ハ ン ド ト ー チ						1	1			
電 気 関 係	ス ト ー ブ										
	電 気 装 置	2	2								
	制 御 盤						1	1			
	配 線 等	1	1								
車 両	ブ レ ー キ	1			1						
	エ ン ジ ン										
	排 気 管	1				1					
	そ の 他	1			1						
そ の 他	金属と金属の衝撃火花	1	1								
	列車ブレーキの火花	2				2	3				3
	煙 突	1	1								
	粉 殻						1	1			
	こ ん ろ (練 炭)	1	1								
	金 属 粉										
	スプレー缶の過熱						1	1			
	不 明	8	7	1			6	3		1	2
	そ の 他	3	1			2					

用途別火災発生状況

用途別 区分		火災発生件数 (件)	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)	焼 損 棟 数 (棟)	死 傷 者	
			建 物				死 者 (人)	負 傷 者 (人)
			床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)				
総 数		31	5,758	66	440,766	26	4	7
建 物 火 災	住 宅	8	1,121	56	32,846	14	3	2
	遊 技 場							
	飲 食 店							
	店 舗	1				1		
	旅 館・ホ テ ル							
	病院・福祉施設							
	学 校							
	神 社 ・ 寺 院							
	工 場 ・ 作 業 場	4	3,635	10	393,912	5		3
	倉 庫	1	2		1			
	車 庫	1	12		1,822	1		1
	養鶏舎・養畜舎	1	967		6,788	3		
	事務所・官公署							
	そ の 他	1	21		2,760	2		
林 野 火 災		1						
車 両 火 災		2			2,634			
そ の 他 の 火 災	田 畑	5			3		1	1
	空 地	1						
	軌 道 敷	2						
	河 川 敷							
	そ の 他	3						

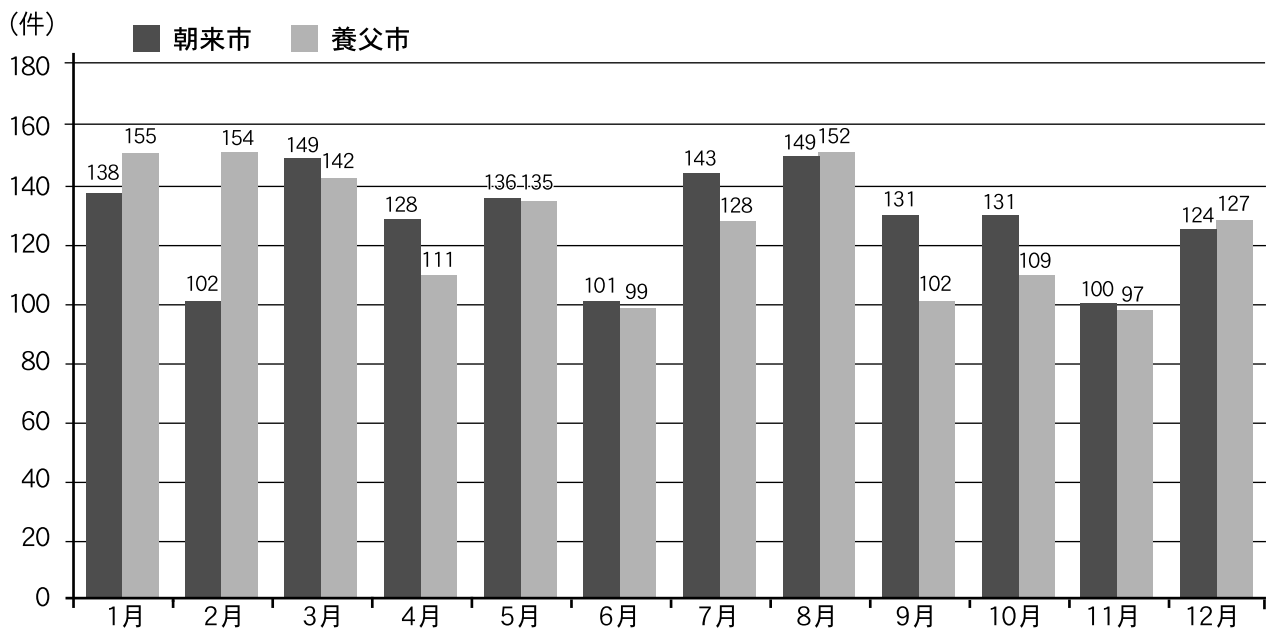
年次別救急発生状況

種 別 \ 年別		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
総 数		2,839	2,935	2,929	3,006	3,046
朝 来 市	小 計	1,454	1,480	1,495	1,544	1,532
	交通事故	165	142	179	155	155
	一般負傷	238	254	219	235	262
	急 病	845	903	909	970	898
	転院搬送	139	111	109	94	136
	そ の 他	67	70	79	90	81
養 父 市	小 計	1,381	1,453	1,428	1,457	1,511
	交通事故	106	102	111	121	110
	一般負傷	229	183	206	271	240
	急 病	693	765	795	793	845
	転院搬送	268	300	208	167	204
	そ の 他	85	103	108	105	112
管外	小 計	4	2	6	5	3



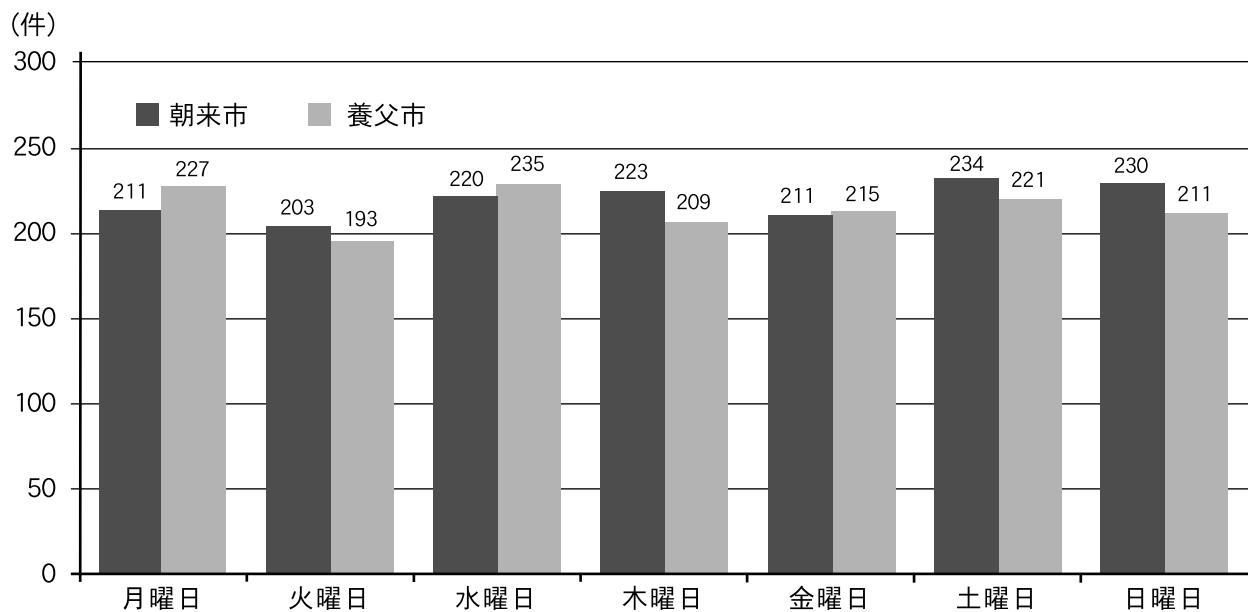
月別救急発生状況

種 別 \ 月 別		総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総 数		3,046	293	256	291	239	271	200	271	303	233	241	197	251
朝 来 市	小 計	1,532	138	102	149	128	136	101	143	149	131	131	100	124
	交通事故	155	15	12	11	21	9	11	11	18	16	10	10	11
	一般負傷	262	23	18	19	16	21	18	36	23	22	25	21	20
	急 病	898	82	58	86	70	79	59	81	87	75	83	60	78
	転院搬送	136	14	9	17	12	15	9	10	13	14	10	6	7
	そ の 他	81	4	5	16	9	12	4	5	8	4	3	3	8
養 父 市	小 計	1,511	155	154	142	111	135	99	128	152	102	109	97	127
	交通事故	110	16	16	18	3	11	5	8	15	3	5	2	8
	一般負傷	240	25	26	17	18	23	13	18	30	14	22	14	20
	急 病	845	92	80	78	67	65	67	74	86	59	52	58	67
	転院搬送	204	16	20	18	15	21	7	13	13	21	24	11	25
	そ の 他	112	6	12	11	8	15	7	15	8	5	6	12	7
管外	小 計	3								2		1		



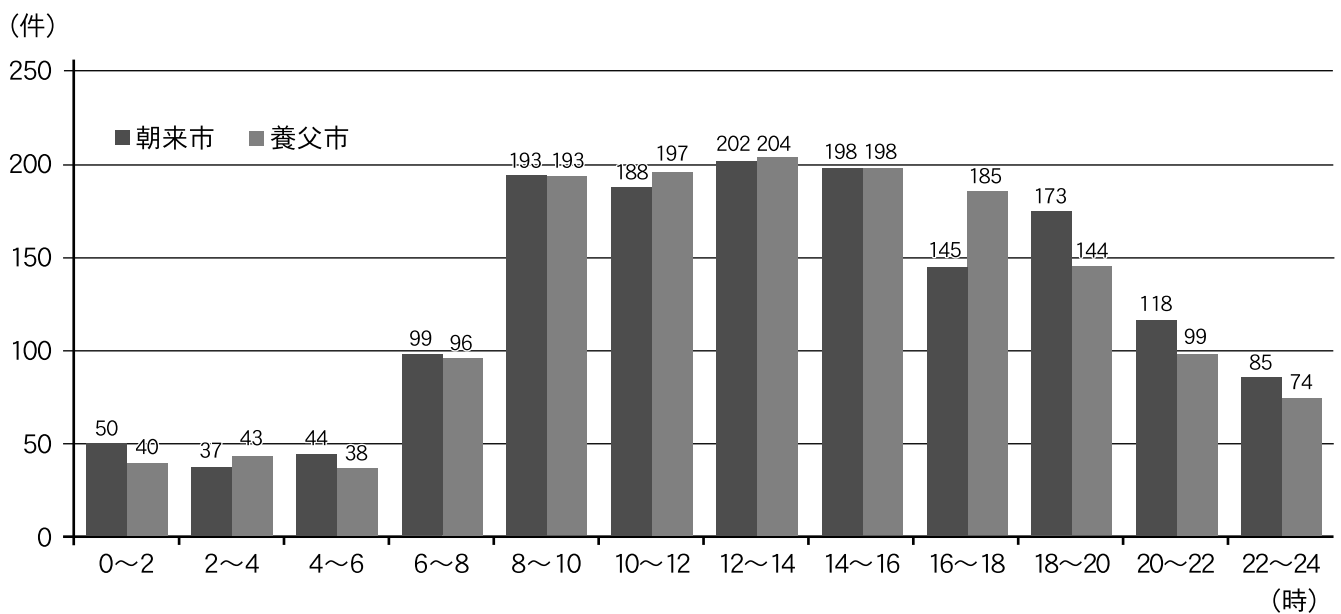
曜日別救急発生状況

種 別	曜日別	総 数	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
総 数		3,046	438	396	455	434	426	455	442
朝 来 市	小 計	1,532	211	203	220	223	211	234	230
	交通事故	155	28	24	21	24	14	21	23
	一般負傷	262	27	32	38	37	34	48	46
	急 病	898	129	110	124	129	127	140	139
	転院搬送	136	22	27	23	18	29	11	6
	そ の 他	81	5	10	14	15	7	14	16
養 父 市	小 計	1,511	227	193	235	209	215	221	211
	交通事故	110	9	18	20	21	15	11	16
	一般負傷	240	35	35	36	26	39	31	38
	急 病	845	134	98	125	109	118	134	127
	転院搬送	204	32	32	34	40	31	24	11
	そ の 他	112	17	10	20	13	12	21	19
管外	小 計	3				2			1



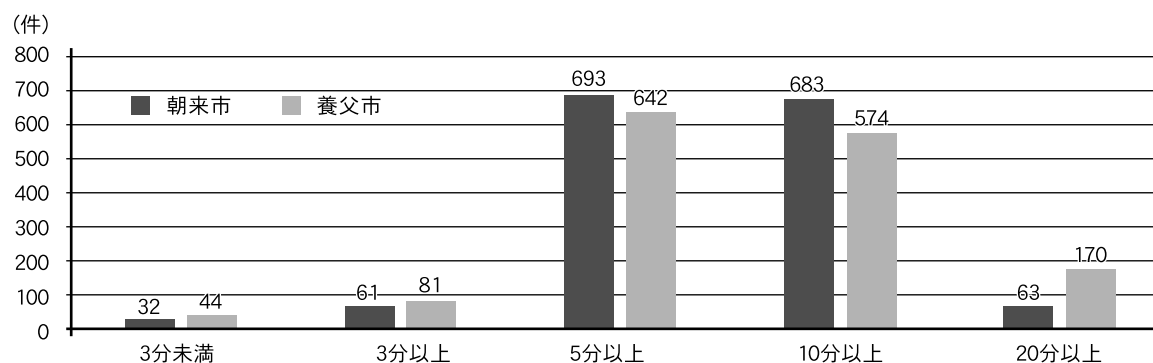
時間別救急発生状況

種 別 \ 時間別		総 数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		3,046	90	80	82	195	386	387	406	397	330	317	217	159
朝 来 市	小 計	1,532	50	37	44	99	193	188	202	198	145	173	118	85
	交通事故	155	2	1	2	20	16	18	19	27	20	22	8	
	一般負傷	262	7	5	4	14	39	31	35	33	33	35	18	8
	急 病	898	37	28	37	62	106	90	109	93	68	102	91	75
	転院搬送	136	1		1	3	16	39	27	22	15	12		
	そ の 他	81	3	3			16	10	12	23	9	2	1	2
養 父 市	小 計	1,511	40	43	38	96	193	197	204	198	185	144	99	74
	交通事故	110			3	11	16	8	21	14	12	15	4	6
	一般負傷	240	3	5	4	19	37	31	31	33	34	23	16	4
	急 病	845	31	34	28	61	93	85	95	104	101	87	71	55
	転院搬送	204	6	2	1	3	26	52	43	22	20	16	6	7
	そ の 他	112		2	2	2	21	21	14	25	18	3	2	2
管外	小 計	3						2		1				



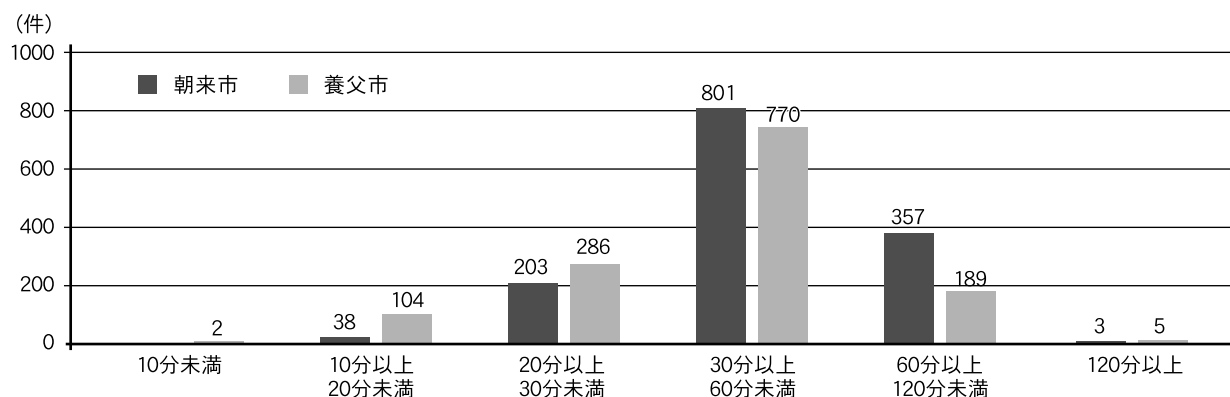
覚知から現場到着までの所要時間状況

市 別 \ 時 間	総 数	3分未満	3分以上	5分以上	10分以上	20分以上	現場到着平均所要時間(分)
総 数	3,046	76	142	1,335	1,258	235	10.7
朝来市	1,532	32	61	693	683	63	10.1
養父市	1,511	44	81	642	574	170	11.2
管 外	3				1	2	23.3



覚知から医療機関収容までの所要時間状況

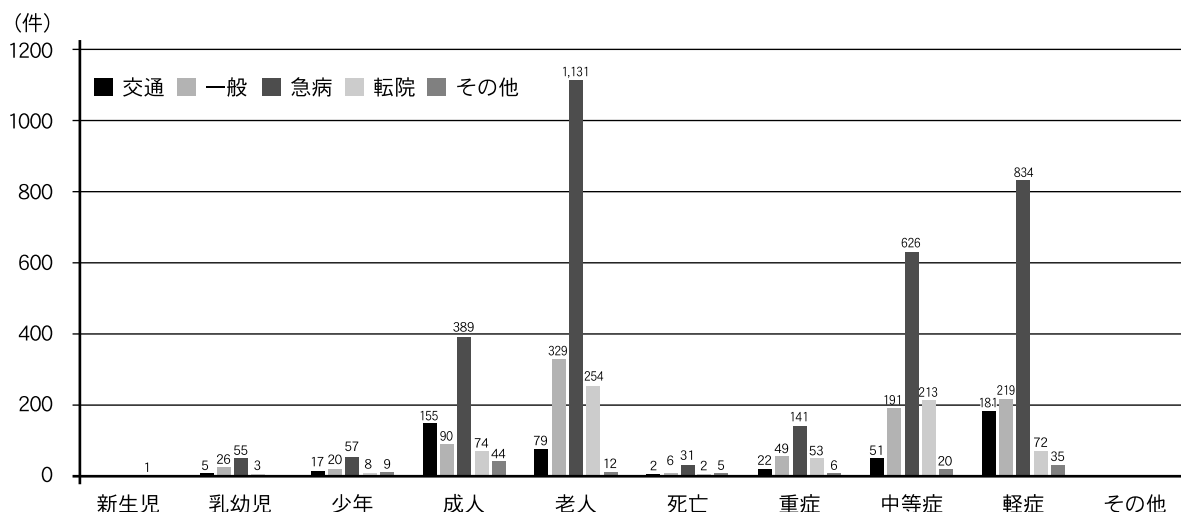
市 別 \ 時 間	総 数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	病院収容平均所要時間(分)
総 数	2,759	2	142	489	1,571	547	8	44.5
朝来市	1,402		38	203	801	357	3	47.4
養父市	1,356	2	104	286	770	189	5	41.5
管 外	1					1		87.0



年齢・傷病程度別搬送人員

種別 \ 区分	総数	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総数	2,759	1	90	111	752	1,805	46	271	1,101	1,341	
交通事故	256		5	17	155	79	2	22	51	181	
一般負傷	465		26	20	90	329	6	49	191	219	
急病	1,632		55	57	389	1,131	31	141	626	834	
転院搬送	340	1	3	8	74	254	2	53	213	72	
その他	66		1	9	44	12	5	6	20	35	

※ 死 亡…初診時、死亡と診断されたもの
 重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症…入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽 症…入院加療を必要としないもの
 その他…医師の診断のないもの



ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況

種別 \ 月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	1,309	126	111	118	100	105	95	119	133	110	121	80	91
交通事故	111	9	12	9	13	8	11	4	14	12	9	4	6
一般負傷	122	13	11	5	10	12	9	12	18	9	10	9	4
急病	1,002	98	85	97	73	77	70	95	97	86	93	59	72
転院搬送	38	3	1	4		3	3	3	3	1	6	4	7
その他	36	3	2	3	4	5	2	5	1	2	3	4	2

医療機関別・事故種別搬送状況

医療機関		種 別	総 数	比率(%)	交通	一般	急病	転院搬送	その他
総 数			2,759	100.0	256	465	1,632	341	65
管内	小 計		1,448	52.5	131	286	875	124	32
	病 院	八 鹿 病 院	1,234	44.7	101	197	808	107	21
		和田山医療センター	177	6.4	30	84	50	6	7
		その他の病院	24	0.9		1	11	9	3
	診 療 所 等		12	0.5		4	6	2	
	そ の 他		1	0.0					1
管外	小 計		1,311	47.5	125	179	757	217	33
	病 院	豊 岡 病 院 (ドクターヘリ含む)	1,133	41.1	116	142	657	187	31
		神崎総合病院	113	4.1	5	34	70	4	
		その他の病院	61	2.2		3	30	26	2
	診 療 所 等		4	0.1	4				

※ドクターヘリで搬送した場合は豊岡病院への搬送として集計しています。

医療機関別・市別搬送状況

医療機関		市 別	総 数	朝 来 市	比率(%)	養 父 市	比率(%)	管 外
総 数			2,759	1,402	100	1,356	100	1
朝来市内医療機関	小 計		199	175	12.5	24	1.8	
	和田山医療センター		177	153	10.9	24	1.8	
	そ の 他 の 病 院		20	20	1.4			
	診 療 所 等		1	1	0.1			
	そ の 他		1	1	0.1			
養父市内医療機関	小 計		1,249	465	33.1	784	57.8	
	八 鹿 病 院		1,234	458	32.6	776	57.2	
	そ の 他 の 病 院		4	1	0.1	3	0.2	
	診 療 所 等		11	6	0.4	5	0.4	
	そ の 他							
管外	小 計		1,311	762	54.4	548	40.4	1
	豊岡病院(ドクターヘリ含む)		1,133	608	43.4	525	38.7	
	神崎総合病院		113	112	8.0			1
	そ の 他 の 病 院		61	38	2.7	23	1.7	
	診 療 所 等		4	4	0.3			

救急隊の行った応急処置状況

処置 種別	総数	固定	酸素 吸入	心肺 蘇生	血圧 測定	血中 酸素	心電図	除細動	静脈路 確保	薬剤 投与	器具による 気道確保	その他
総 数	13,707	406	833	55	2,609	2,678	2,263	7	45	12	34	4,765
交通事故	1,357	203	76	1	244	250	150	1	3	1		428
一般負傷	2,266	156	62	9	438	451	329		6	4	3	808
急 病	8,296	23	551	37	1,558	1,588	1,471	6	34	6	26	2,996
そ の 他	1,788	24	144	8	369	389	313		2	1	5	533

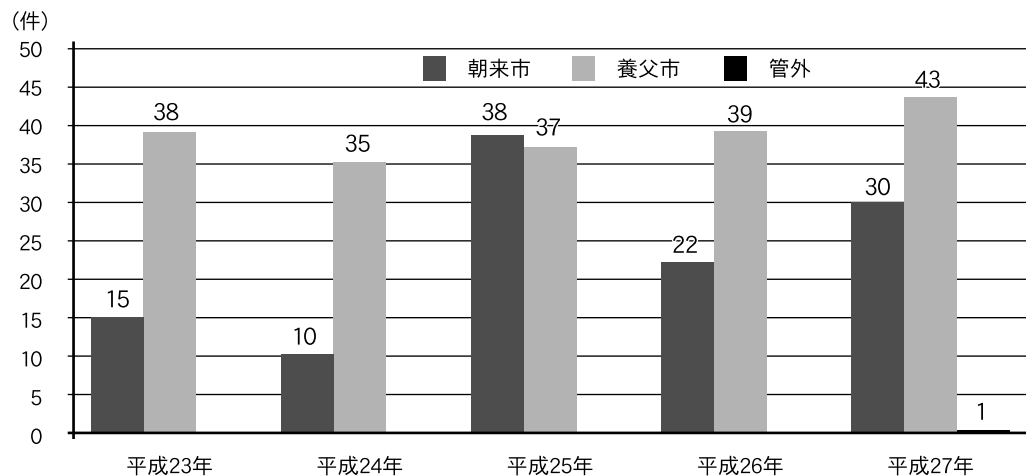
普通救命講習実施状況

区 分	受講回数(回)	受講者数(人)
学 校 関 係	9	178
事 業 所 等	13	147
消 防 団	8	188
市 職 員	1	20
そ の 他	23	306
総 数	54	839



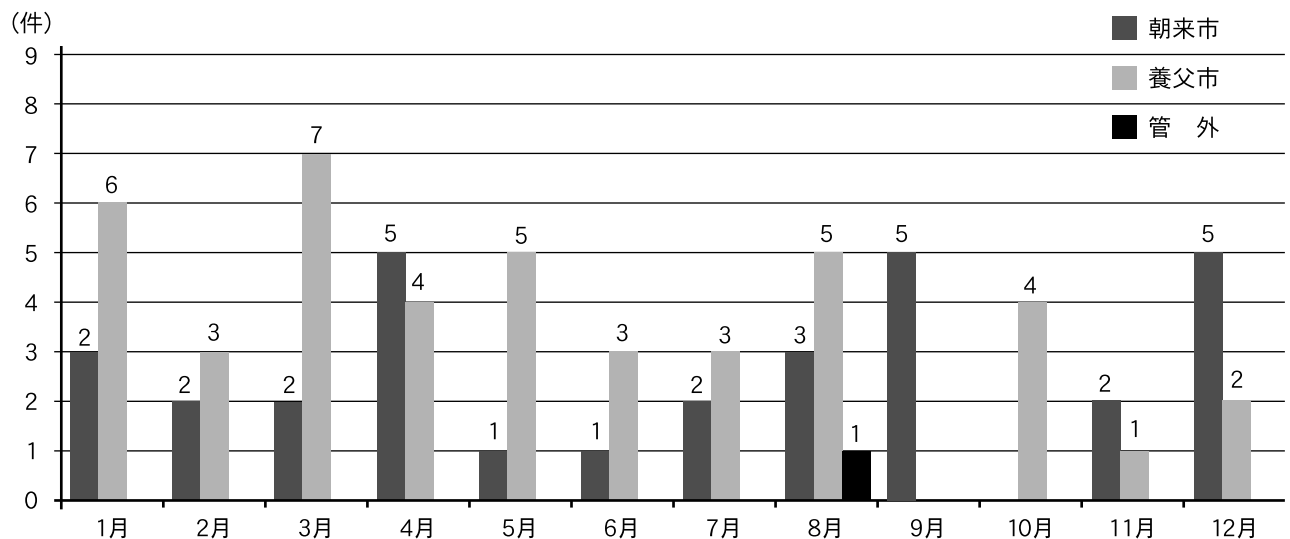
年次別救助発生状況

種別		年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
総 数			53	45	75	61	74
朝 来 市	小 計		15	10	38	22	30
	火 災						
	交 通 事 故		10	5	28	16	18
	水 難 事 故				1	2	2
	自 然 災 害						
	機械による事故		2		1		2
	建物等による事故				1		
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他		3	5	7	4	8
養 父 市	小 計		38	35	37	39	43
	火 災		3	4		1	3
	交 通 事 故		23	21	19	26	23
	水 難 事 故			1	1		1
	自 然 災 害				1		
	機械による事故		2	2		2	
	建物等による事故						1
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他		10	7	16	10	15
管外	小 計					1	1



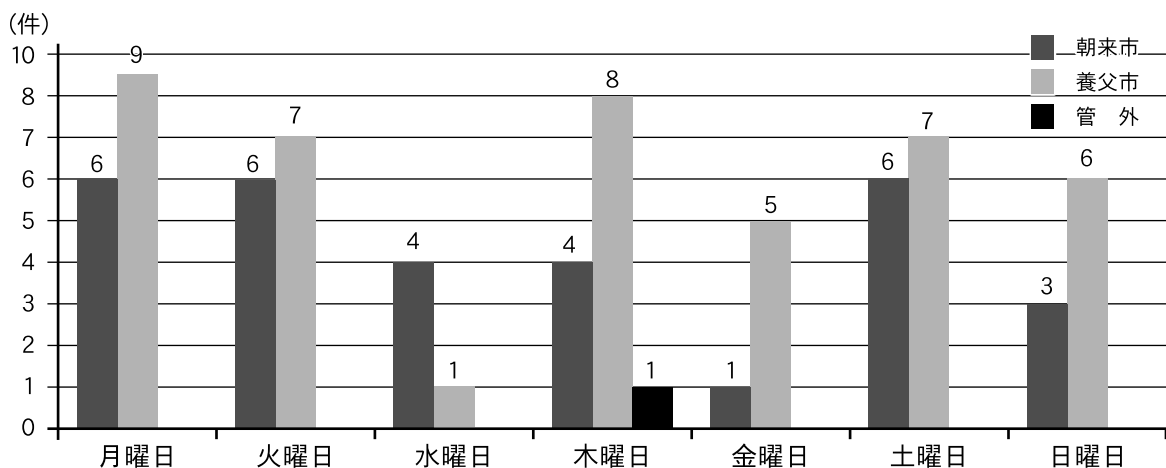
月別救助発生状況

種別		月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数			74	8	5	9	9	6	4	5	9	5	4	3	7
朝 来 市	小 計		30	2	2	2	5	1	1	2	3	5		2	5
	火 災														
	交 通 事 故		18	2	2	1	4		1			3		2	3
	水 難 事 故		2			1					1				
	自 然 災 害														
	機械による事故		2							1		1			
	建物等による事故														
	ガス及び酸欠事故														
	破 裂 事 故														
	そ の 他		8				1	1		1	2	1			2
養 父 市	小 計		43	6	3	7	4	5	3	3	5		4	1	2
	火 災		3				2		1						
	交 通 事 故		23	6	2	4		4	2	1	2		1		1
	水 難 事 故		1			1									
	自 然 災 害														
	機械による事故														
	建物等による事故		1							1					
	ガス及び酸欠事故														
	破 裂 事 故														
	そ の 他		15		1	2	2	1		1	3		3	1	1
管外	小 計		1								1				



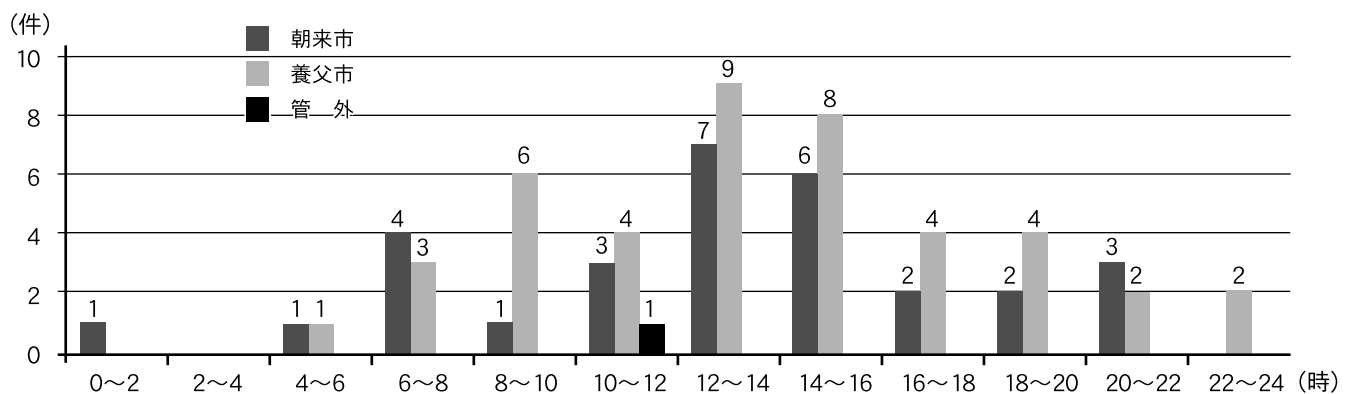
曜日別救助発生状況

種別	曜日別	総 数	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
総 数		74	15	13	5	13	6	13	9
朝 来 市	小 計	30	6	6	4	4	1	6	3
	火 災								
	交 通 事 故	18	5	4	1	3	1	3	1
	水 難 事 故	2	1	1					
	自 然 災 害								
	機械による事故	2			1			1	
	建物等による事故								
	ガス及び酸欠事故								
	破 裂 事 故								
	そ の 他	8		1	2	1		2	2
養 父 市	小 計	43	9	7	1	8	5	7	6
	火 災	3	1			1		1	
	交 通 事 故	23	3	5		7	3	3	2
	水 難 事 故	1	1						
	自 然 災 害								
	機械による事故								
	建物等による事故	1					1		
	ガス及び酸欠事故								
	破 裂 事 故								
	そ の 他	15	4	2	1		1	3	4
管外	小 計	1				1			



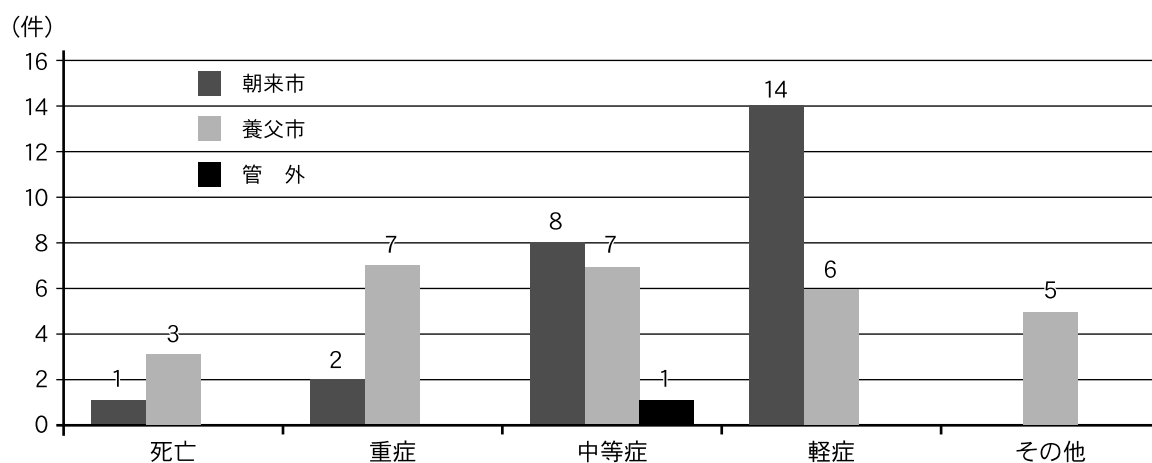
時間別救助発生状況

種 別 \ 時間別		総 数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		74	1		2	7	7	8	16	14	6	6	5	2
朝 来 市	小 計	30	1		1	4	1	3	7	6	2	2	3	
	火 災													
	交 通 事 故	18			1	3		3	3	3	2	1	2	
	水 難 事 故	2	1							1				
	自 然 災 害													
	機械による事故	2					1					1		
	建物等による事故													
	ガス及び酸欠事故													
	破 裂 事 故													
	そ の 他	8				1			4	2			1	
養 父 市	小 計	43			1	3	6	4	9	8	4	4	2	2
	火 災	3					1				1	1		
	交 通 事 故	23			1	2	3	1	5	4	2	2	2	1
	水 難 事 故	1				1								
	自 然 災 害													
	機械による事故													
	建物等による事故	1								1				
	ガス及び酸欠事故													
	破 裂 事 故													
	そ の 他	15					2	3	4	3	1	1		1
管外	小 計	1						1						



事故種別・傷病程度別状況

種 別 \ 傷病程度		救 助 人 員					
		総 数	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
総 数		54	4	9	16	20	5
朝 来 市	小 計	25	1	2	8	14	
	火 災						
	交 通 事 故	13		1	4	8	
	水 難 事 故	1	1				
	風 水 害						
	機械による事故	2			1	1	
	建物等による事故						
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他	9		1	3	5	
養 父 市	小 計	28	3	7	7	6	5
	火 災	3	2			1	
	交 通 事 故	16	1	5	2	4	4
	水 難 事 故						
	風 水 害						
	機械による事故						
	建物等による事故	1			1		
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他	8		2	4	1	1
管外	小 計	1			1		



気象観測状況

区 分		年 間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温 (℃)	平 均	14.2	2.7	3.4	6.9	13.5	18.8	20.8	25.3	25.5	19.9	14.6	12.2	6.6
	最 高	37.0	12.4	14.6	24.1	29.5	32.4	31.8	35.2	37.0	28.8	26.1	23.9	17.0
	最 低	-5.2	-5.2	-5.0	-3.6	1.0	6.3	11.6	17.6	18.7	11.9	3.1	-0.4	-2.6
相対 湿度 (%)	平 均	85.0	94.1	88.9	83.1	78.5	68.3	82.9	83.7	84.2	89.0	84.4	91.5	91.1
	最 高	98.9	98.7	98.7	98.5	98.4	98.0	98.0	98.0	98.1	98.4	98.6	98.9	98.9
	最 低	33.0	50.2	36.4	15.7	16.1	15.4	13.6	29.9	33.8	33.0	40.2	42.7	46.2
実効 湿度 (%)	平 均	85.0	93.7	89.6	84.2	79.1	68.0	81.8	83.6	83.8	89.5	84.3	91.1	90.9
	最 高	96.3	96.3	95.3	92.8	91.9	74.8	88.7	90.9	89.8	94.9	87.4	95.7	95.6
	最 低	61.5	88.9	84.1	72.2	62.4	61.5	66.5	73.6	79.6	83.4	80.9	83.6	81.8
平均 風速 m/s	平 均	1.6	1.3	1.5	1.6	2.2	2.0	1.6	1.9	1.4	1.4	1.4	1.2	1.3
	最 高	11.8	7.1	8.6	7.7	11.8	9.7	7.1	8.5	7.9	6.5	8.0	9.3	10.4
天 候	晴	181	3	14	15	17	20	12	14	21	16	26	10	13
	くもり	109	12	6	8	6	10	11	11	8	9	3	15	10
	雨	65	11	4	7	7	1	7	6	2	5	2	5	8
	雪	10	5	4	1									
降水量 (mm)	降水量	1,775.0	248.5	106.5	148.0	118.0	63.5	208.5	225.0	132.5	235.0	30.0	122.0	137.5
	最高/日	104.5	36.5	22.0	26.0	19.5	40.5	40.0	104.5	52.5	56.0	18.0	35.5	66.5
	降水日	167	22	17	16	16	5	16	13	13	12	4	15	18
積雪 (cm)	最深積雪	35	35	27	16									1
	積雪日	27	13	11	2									1

消防用機器の配置状況

平成28年 3月31日現在

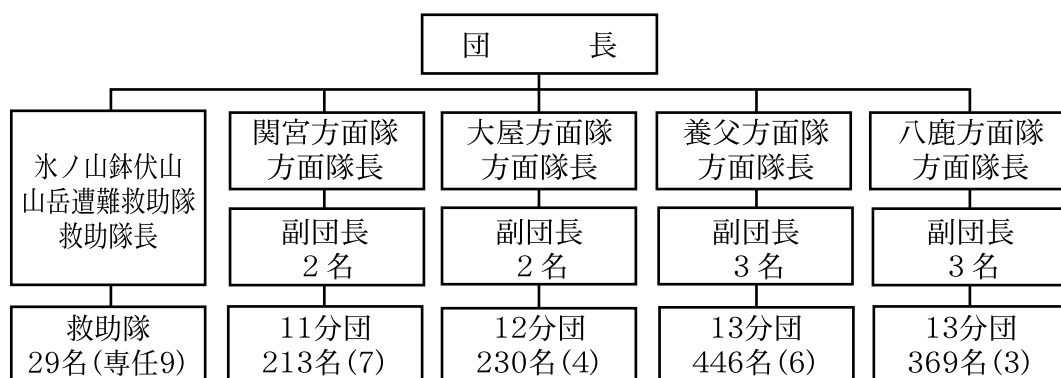
名 称		朝来署	養父署
通 信 設 備	消防緊急通信指令施設I型	1	
	119番専用回線(携帯等含)	8回線	
	C A T V 119番回線	1回線	
	119番 F A X 受信装置	1	
	消防無線陸上移動局/車載	14	11
	消防無線陸上移動局/携帯	28	25
	フェニックス防災システム	1	
	告知放送設備	1	1
	防災無線設備	1	
	簡易車両動態システム	6	4
	消防職団員参集メールシステム	1	
消 防 資 機 材	ホース(65mm)	105	83
	ホース(50mm)	141	180
	C級可搬式ポンプ	2	1
	D級可搬式ポンプ		1
	ジェットシューター	26	25
	高発泡器	1	1
	組立式布水槽	3	2
	C A F S 薬剤		100ℓ
救 急 資 機 材	A E D(自動体外式除細動器)	7	2
	半自動除細動器	4	3
	患者監視装置	3	3
	パルスオキシメーター	5	3
	喉頭鏡	6	4
	気管挿管セット	4	3
	呼吸管理器具	6	3
	自動式心マッサージ器	2	3
	陰圧式固定具	4	4
	スクープストレッチャー	5	4
	バックボード	7	6
	脊柱固定器具	7	6
	在宅療法セット	3	3
	高度救急シミュレーター	2	2
	静脈注射訓練モデル	1	1
	心肺蘇生訓練用人体	15	19
	A E D トレーナー	10	7
	ショートボード	1	2
名 称		朝来署	養父署
救 助 資 機 材	耐熱服	2	2
	空気呼吸器	18	14
	エンジンカッター	2	1
	エアーカーター	2	1
	エッジローラー	1	2
	チルホール	4	2
	チェーンソー	3	1
	ルーカスレスキューツール	1式	1式
	マット型空気ジャッキ	1	1
	救助マット	1	1
	緩降機	1	1
救 助 資 機 材	送排風機	1	1
	救命索発射銃	1	1
	舟型担架	3	2
	スケッドストレッチャー	2	2
	ガス溶断機	1	1
	エアーソー	1	1
	グラスソー	2	1
	化学防護服	3	
	防護服	5	4
	防毒マスク	14	14
	マンホール救助器具	1式	1式
救 助 資 機 材	電動鉄線カッター		1
	ガス測定器	2	2
	車両移動器具		1
	削岩機	1	1
	酸素呼吸器		2
	簡易画像探索器	1	1
	距離測定器		1
	G P S ハンディナビ	1	3
	ハンマードリル		1
	セイバーソー		1
	エアーテント	2式	1式
救 助 資 機 材	ウェットスーツ一式	5	6
	救命胴衣	11	35
	救命浮環	4	5
	救助用ボート	1	1
	船外機	1	1

協 力 団 体

消 防 団

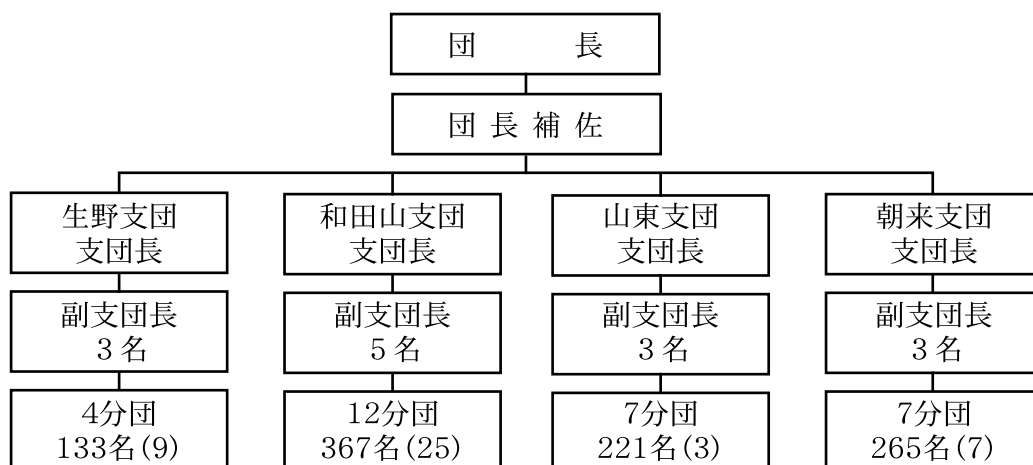
平成28年4月1日現在

● 養父市消防団組織図（総員1,282名）



()内は女性団員

● 朝来市消防団組織図（総員1,006名）



()内は女性団員

● 消防団との連携

消防団は災害時にいかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に消防活動ができるように、消防署との実践的な合同訓練や研修を意欲的に取り組んでいます。

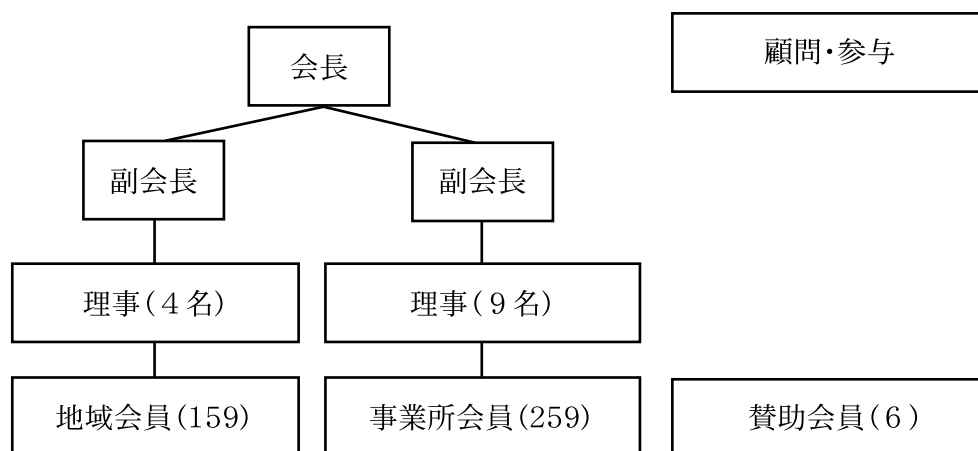
平成27年度消防団との合同訓練内容

養 父 市	11月 8日	八鹿方面隊との合同消防訓練	八鹿町伊佐
	1月25日	養父方面隊との文化財防火合同消防訓練	養父市広谷
	3月 8日	大屋方面隊との合同消防訓練	大屋町筏
朝 来 市	11月 8日	山東支団消防合同訓練	山東町小谷
	11月 9日	和田山支団夜間消防合同訓練	和田山町藤和
	1月25日	赤淵神社文化財合同消防訓練(和田山支団)	和田山町枚田
	3月13日	朝来支団及び生野支団合同訓練	朝来市岩津 生野町円山

朝来市自主防災推進協議会の現況

協議会組織図

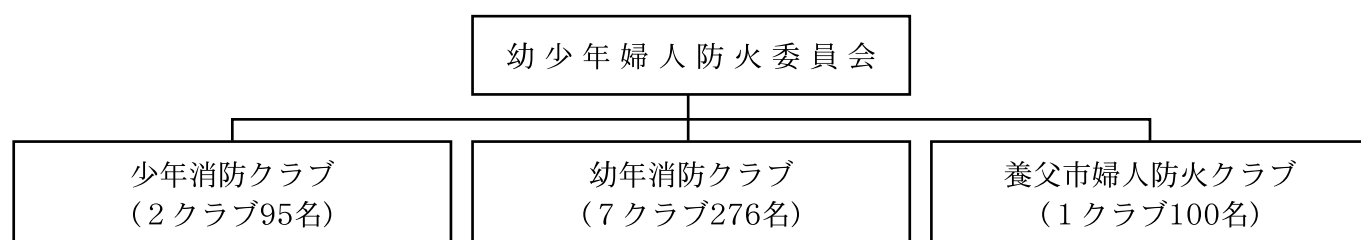
平成28年4月1日現在



養父市幼少年婦人防火クラブの現況

防火クラブ組織図

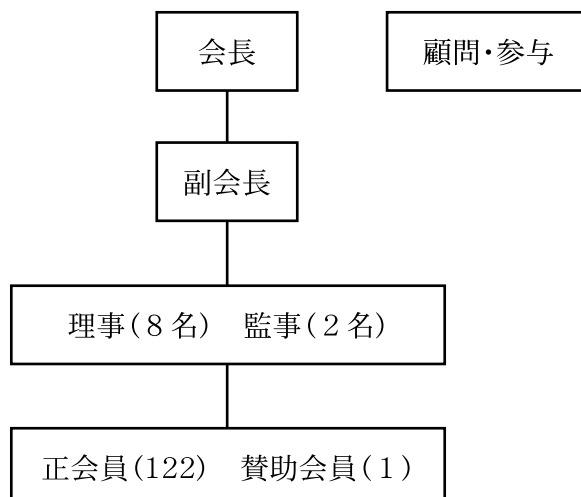
平成28年4月1日現在



南但危険物安全協会の現況

協会組織図

平成28年4月1日現在





神子畑製錬所跡地（朝来市）



天滝（養父市）

養父市・朝来市の安全をめざして

(住宅用火災警報器を設置しましょう)

＝ 消防年報 第4号 ＝

南但消防本部年報編集委員会

〒669-5261

兵庫県朝来市和田山町枚田436-1

T E L (0 7 9) 6 7 2 - 0 1 1 9

F A X (0 7 9) 6 7 2 - 5 0 4 6

消防本部ホームページアドレス

<http://www.nantan.hyogo.jp/fire/>



「消防年報」は、資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。